



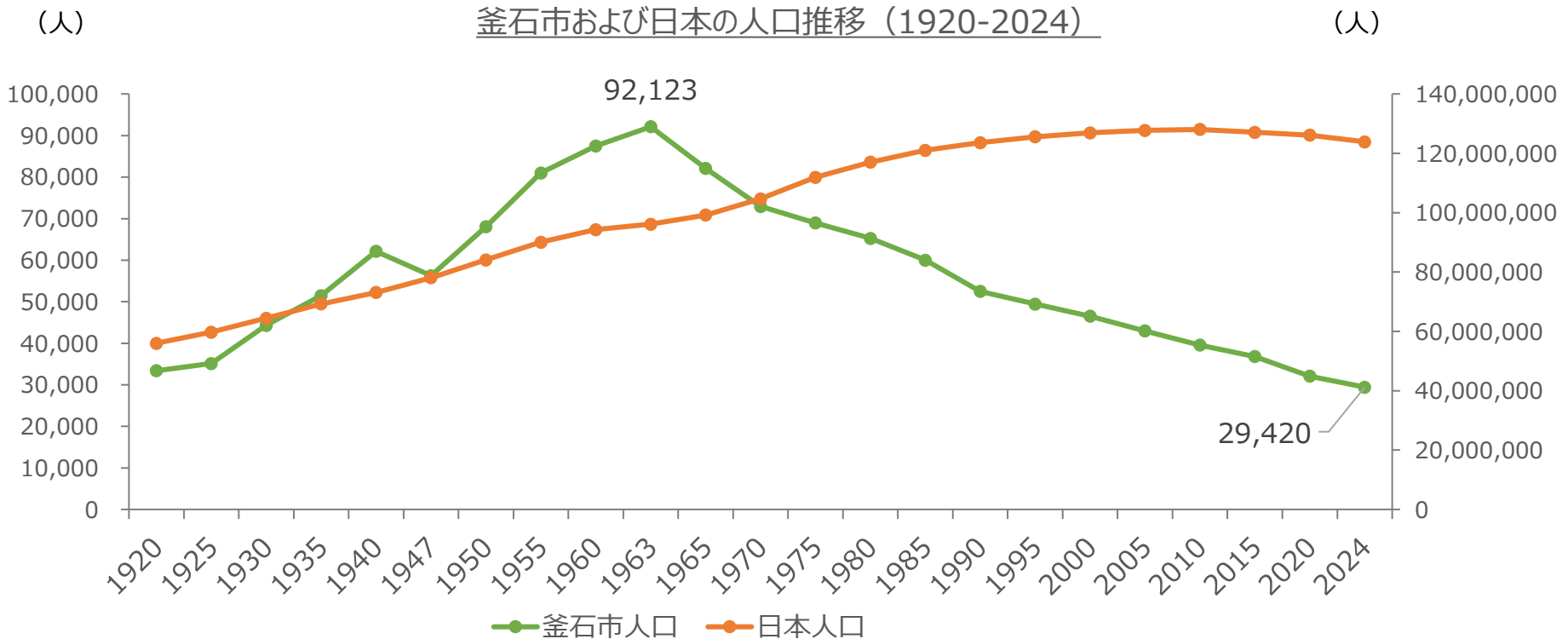
# 第3期釜石市人口ビジョン・オープンシティ戦略 進捗状況報告

釜石市総務企画部  
オープンシティ・プロモーション室



# 釜石市および日本の人口推移（1920-2024）

- 当市では、1963年（昭和38年）の92,123人をピークに、急激な人口減少が進展しました（半世紀で人口が半減）
- 背景としては、鉄鋼業の合理化・縮小、就業の場を求めた首都圏・都市部への人口流出、大学進学率の上昇、日本全体で低下する合計特殊出生率、東日本大震災による地域課題の顕在化など、複合的要因が考えられます
- 2024年（令和6年）5月末時点の釜石市人口29,420人は100年前よりも低い水準にあり、国全体で急激な人口減少・少子高齢化が進展する中で、釜石らしい持続可能なまちづくりのあり方を探求していくことが求められています

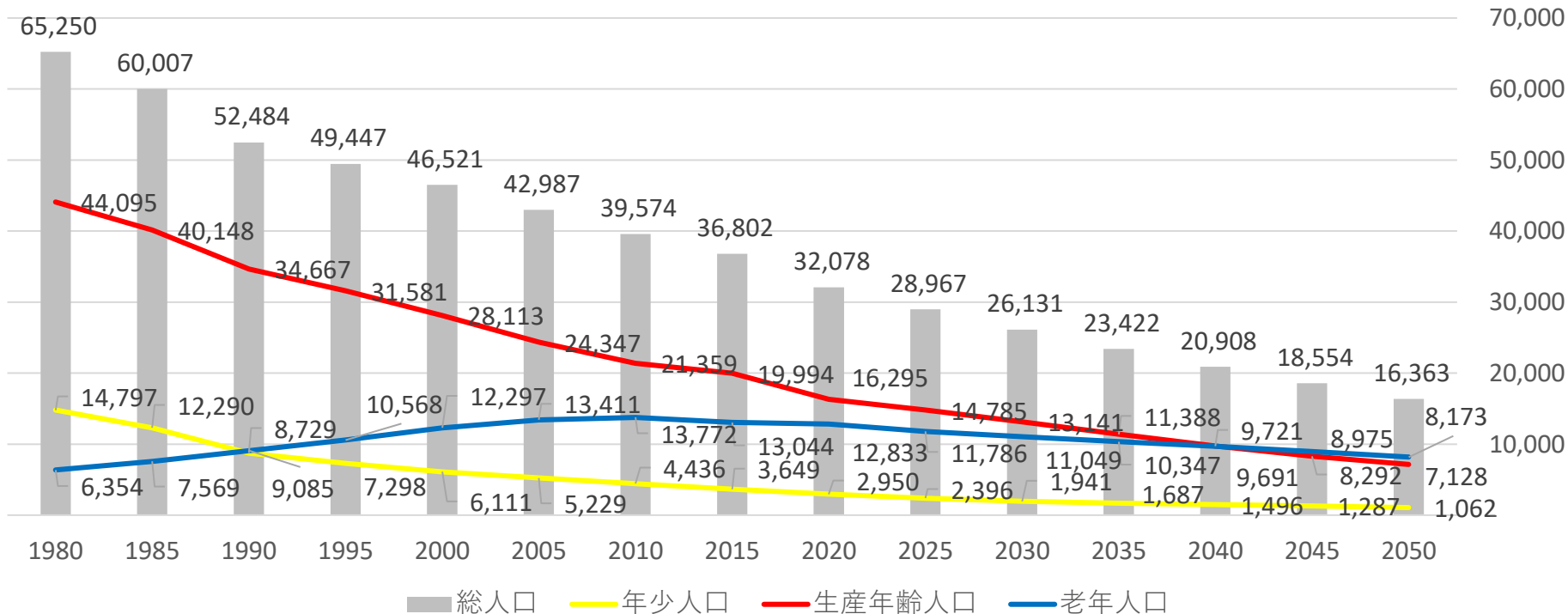


出所：  
国勢調査より作成（1920～2020年）  
住民基本台帳より作成（釜石市・1963年、2024年・5月末）  
総務省統計局より作成（日本・1963年、2024年・6月1日）

# 総人口および年齢3区分別人口の推移・推計（1980～2050）

- 年齢3区分別人口推移では、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が1960年代より減少しています。老年人口（65歳以上）も今後横ばいから減少に転じていく見込みとなっており、このまま推移しますと、2050年には、生産年齢人口と老年人口が逆転すると推計されています
- 国立社会保障・人口問題研究所によれば、2050年には16,363人まで人口減少が進展していくとされています

## 金沢市人口及び年齢3区分別人口の推移・推計



実績値
推計値

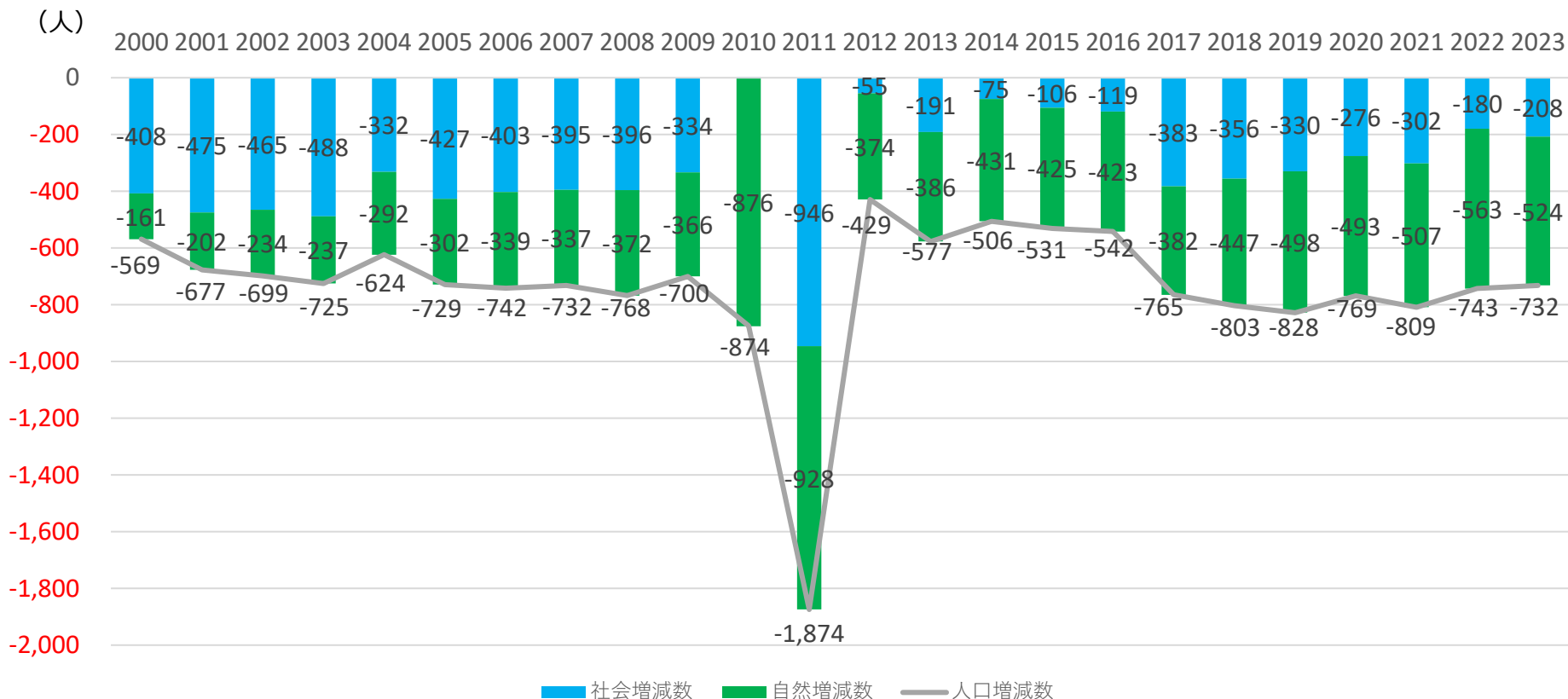
出所：国勢調査より作成（1980～2020年）

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」より作成（2025～2050年）

# 社会増減・自然増減の推移（2000～2023）

- 社会減（転入者-転出者）および自然減（出生数-死亡数）によって、人口減少が進展しています
- 社会減については、震災後に抑制傾向が見られたものの、復旧・復興需要の逡減に伴い、2017年より減少幅が拡大傾向にありましたが、近年は誘致企業を中心とした製造業の雇用の場の増加等により、比較的抑制されている状況にあります
- 自然減については、出生数の減少ならびに死亡数の増加によって減少幅が拡大傾向にあります

社会増減・自然増減の推移（2000～2023）



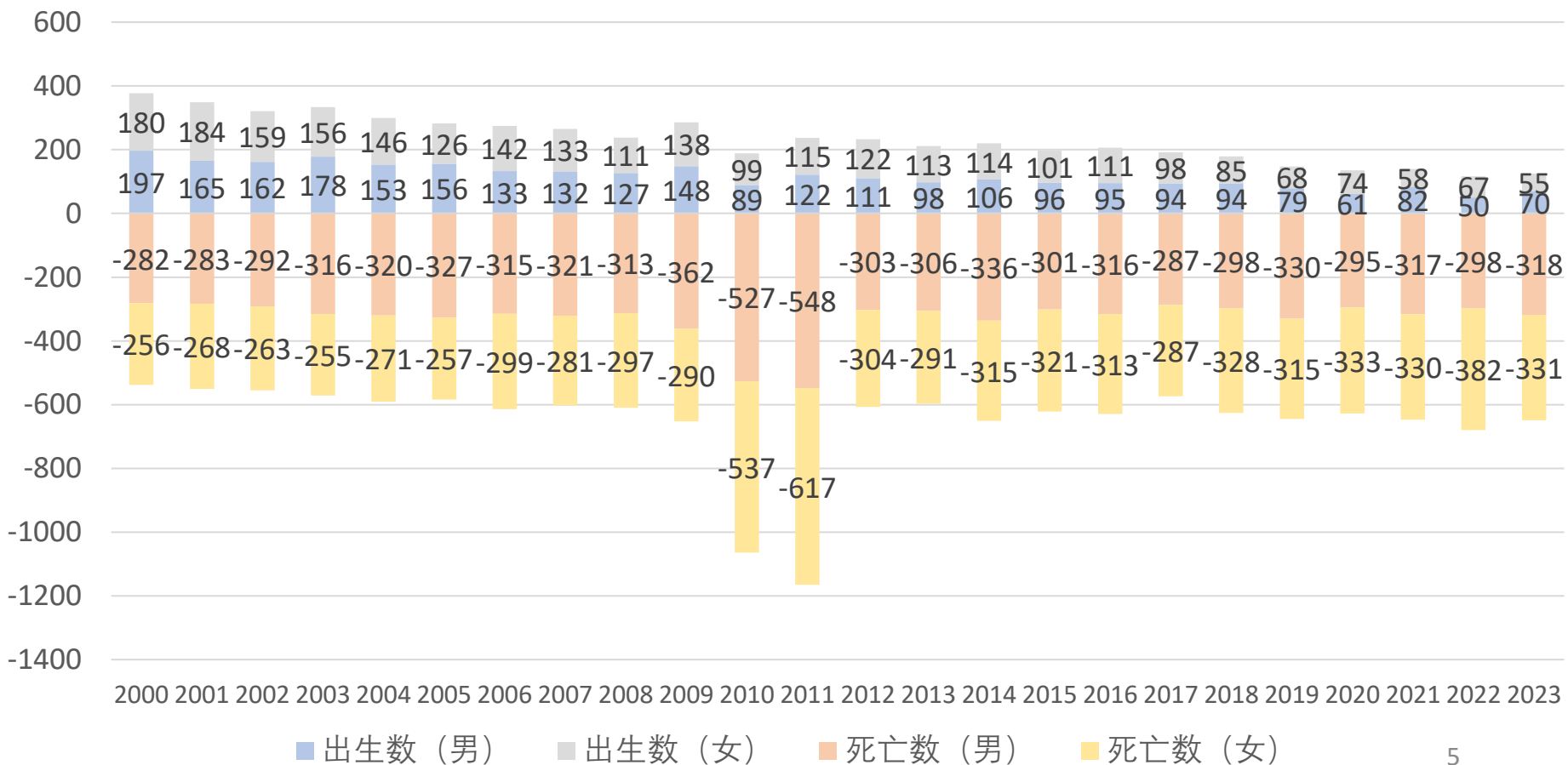
出所：住民基本台帳より作成  
 ※東日本大震災の影響により、2010年の社会増減数は2011年に処理

# 自然増減の推移（2000～2023）（男女別）

- 出生数は、この20年間で大きく減少し、近年は130人/年を切る水準にまで減少しています
- 死亡数は、今後もしばらくは横ばいとなる見込みです

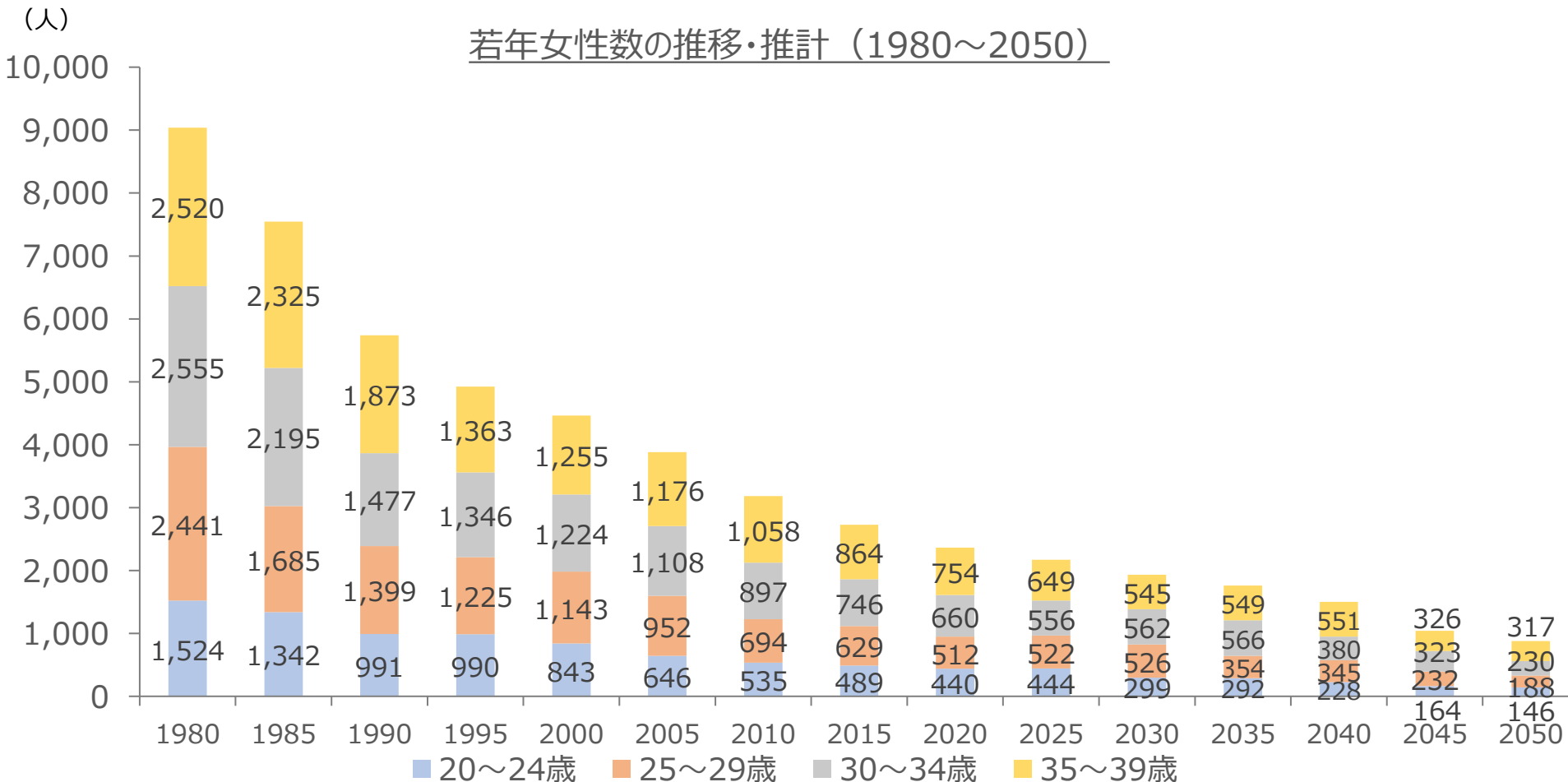
(人)

自然増減の推移（2000～2023）（男女別）

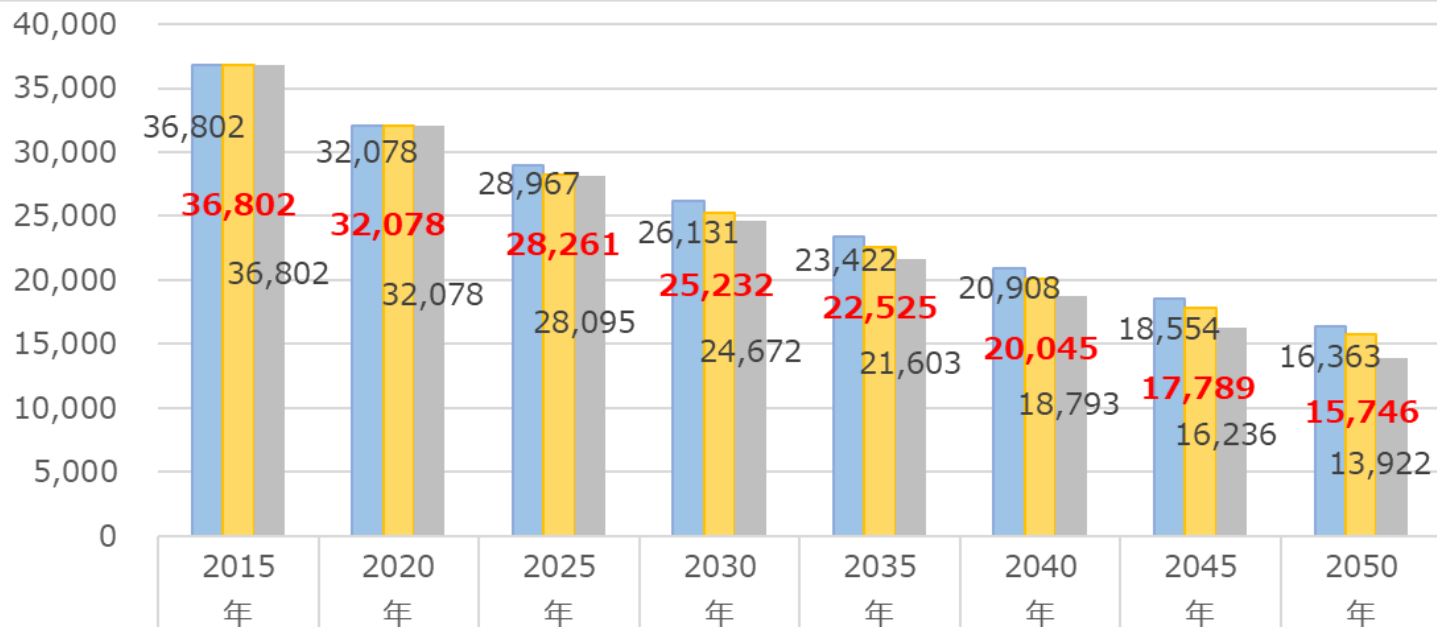


# 若年女性数の推移・推計（1980～2050）

- 当市の若年女性数（20～39歳の女性の数）は、1980年の9,040人から大幅に減少し、2020年には2,300人余りとなっています。若年女性数の減少は、出生数減少の大きな要因となり、女性が働きやすい環境の構築や子育て支援の充実など、若い世代の女性に選ばれるまちづくりを推進していく必要があります



- ・当市が、転入、転出、出生、死亡の各要因の人口に占める割合から試算した推計では、2050年の人口は、13,922人と国立社会保障・人口問題研究所の推計を遥かに下回る状況
- ・新たな人口ビジョンでは、少子化対策・移住定住施策を講じることで、2030年に25,000人台、2040年に20,000人台、2050年に15,000人台をキープすることを目指す



■ 国立社会保障・人口問題研究所推計	36,802	32,078	28,967	26,131	23,422	20,908	18,554	16,363
■ 釜石市人口ビジョン	36,802	32,078	28,261	25,232	22,525	20,045	17,789	15,746
■ 過去のデータを元にした推計値	36,802	32,078	28,095	24,672	21,603	18,793	16,236	13,922

# 【参考】人口推計算出データ

単位：人

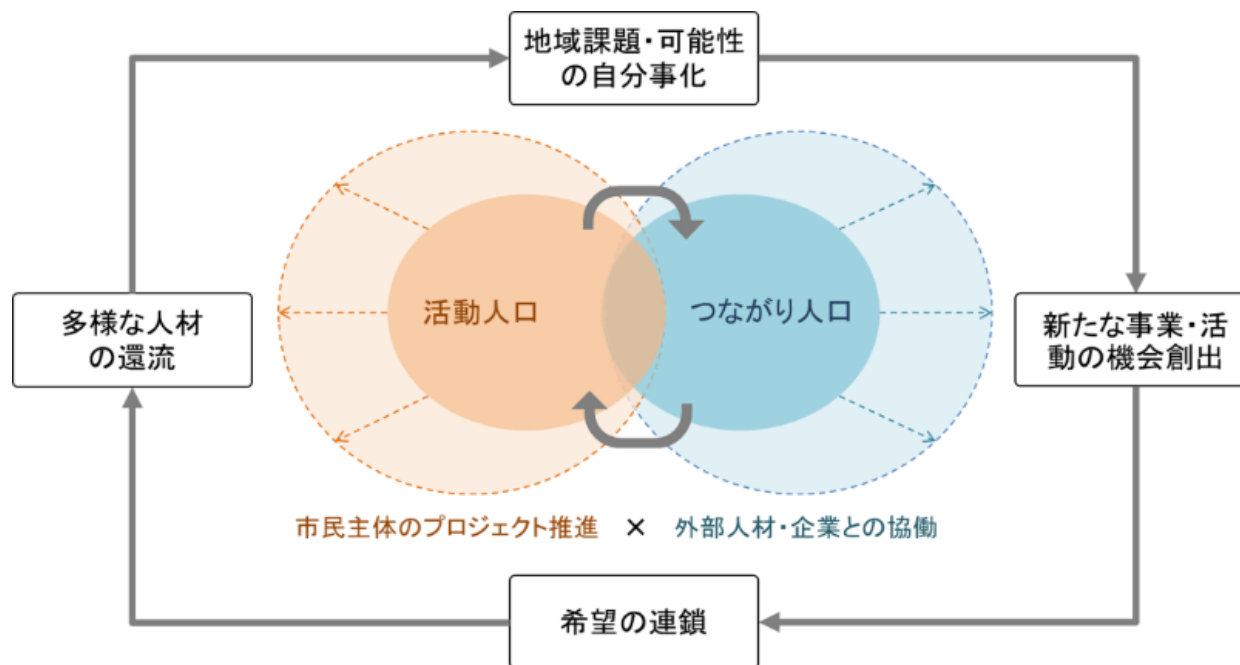
年度	人口増減		社会増減		転入		転出		自然増減		出生		死亡		人口推計		
	実績・推計	補正後	実績・推計	補正後	実績・推計	補正後(3%)	実績・推計	補正後(3%)	実績・推計	補正後	実績・推計	補正後(3%)	実績・推計	補正後(3%)	住基人口 実績・推計	人口 ビジョン	社人研 推計
2020	-769	-	-276	-	863	-	1,139	-	-493	-	135	-	628	-	31,839		32,078
2021	-809	-	-302	-	863	-	1,165	-	-507	-	140	-	647	-	31,030		
2022	-743	-	-180	-	978	-	1,158	-	-563	-	117	-	680	-	30,287		
2023	-732	-	-208	-	1,017	-	1,225	-	-524	-	125	-	649	-	29,555		
2024	-738	-655	-245	-184	895	922	1,141	1,107	-493	-471	126	130	619	601	28,817	28,900	
2025	-721	-639	-230	-170	880	906	1,110	1,077	-491	-469	122	126	614	595	28,095	28,261	28,967
2026	-712	-630	-221	-162	882	908	1,103	1,070	-490	-468	120	123	610	592	27,384	27,630	
2027	-693	-613	-207	-148	883	910	1,090	1,057	-486	-465	116	120	603	585	26,690	27,018	
2028	-683	-604	-211	-153	865	891	1,077	1,044	-472	-451	116	119	588	570	26,007	26,414	
2029	-674	-597	-211	-155	837	862	1,049	1,017	-462	-442	114	117	576	559	25,333	25,817	
2030	-661	-585	-205	-149	826	850	1,031	1,000	-456	-436	112	115	568	551	24,672	25,232	26,131
2035	-594	-525	-176	-125	763	786	940	911	-418	-399	102	105	520	505	21,603	22,525	23,422
2040	-541	-478	-160	-114	696	717	857	831	-381	-364	93	96	474	460	18,793	20,045	20,908
2045	-492	-434	-146	-103	632	651	778	754	-346	-331	85	87	431	418	16,236	17,789	18,554
2050	-444	-392	-132	-93	571	588	703	682	-313	-299	76	79	389	377	13,922	15,746	16,363

※ 転入、転出、出生、死亡の各要因の人口に占める割合（過去5年間の平均値）から算出

# 第3期釜石市オープンシティ戦略の基本理念

## ＜釜石市オープンシティ戦略の基本的な考え方＞

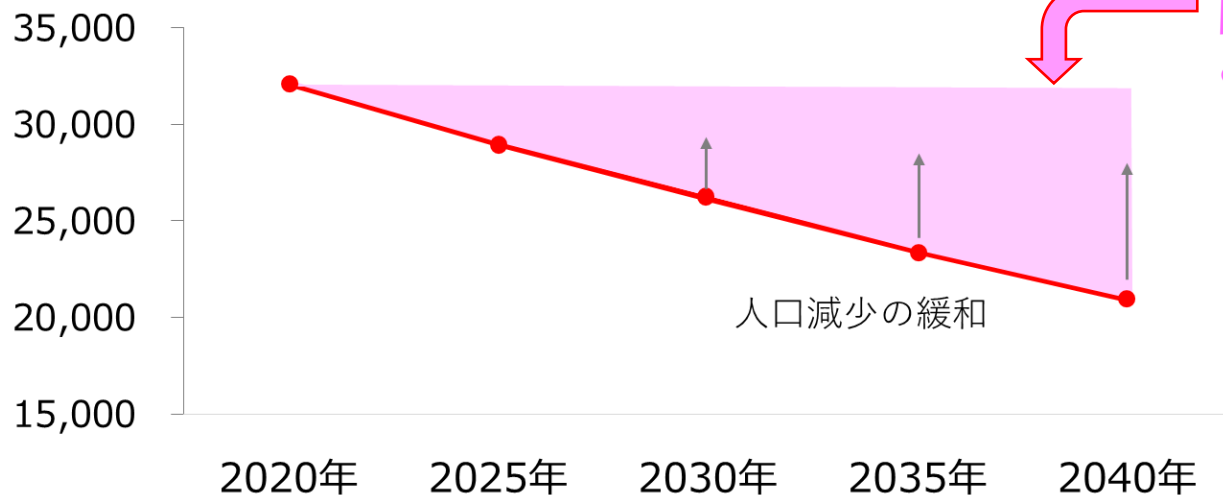
- まちを開いていき、市内外の多様な交流がなされ、コミュニティ活動や経済活動を促して行き、そのサイクルを生み出していくこと。
- 人口が増えた、減ったという軸の考え方ももちろん大事なことであるが、そのまち独自の『価値基準』を持つことが肝要である。



**つながり人口（関係人口） Connected Population** …観光客以上、移住者未満に関わりを有する人材・企業  
**活動人口 Active Population** …コミュニティ活動・経済活動へ積極的に参画する市民

# 第3期釜石市オープンシティ戦略の基本理念・基本目標

○つながり人口、活動人口によってまちの活力を創出



つながり人口、活動人口が増加することによってせられる活力



## 第3期釜石市オープンシティ戦略の基本目標

- ① 新たなチャレンジができ、安心して働けるまち（仕事をつくる）
- ② 関わりたい、関わり続けたいまち（人の流れ、つながりをつくる）
- ③ 安心して子どもを産み育てたいまち（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）
- ④ 魅力と活力があふれ、安心して住み続けたいまち（魅力的な地域をつくる）

# KPI（重要業績評価指標）

項目	目標	現状
a.社会減数	戦略期間内の平均社会減数を <b>マイナス158人</b> 以下に抑える	<b>▲208人</b>
b.出生数	戦略期間内の平均出生数は <b>121人</b> を維持	125人
c.つながり人口数	戦略期間内のつながり人口 <b>10,460人</b> を目指す	7,738人
d.一人あたり市民所得	戦略期間内に <b>2,803千円</b> を目指す ※公表されている直近5年間（2017～2021）の平均値	2,593千円
e.大切な人を地域に呼び込みたいと考える市民の割合	戦略期間内に、 <b>45%以上</b> を目指す	39.9%

a.社会減数、b.出生数：住民基本台帳より作成、c.つながり人口：次ページ参照、d.一人あたり市民所得：岩手県市町村経済計算、e.大切な人を地域に呼び込みたいと考える市民の割合：令和5年2月実施・市民意識調査結果から

# 【参考】つながり人口数値データ

単位：人






大分類	中分類	内容	現状値 (2023年度)	目標値 (2028年度)
観光	観光客	県外から累計2回以上、県内から累計3回以上来ている人数	698	931
	体験型プログラム	市外から参加した人数	928	1,238
	ラグビー観戦者	釜石開催のリーグワン公式戦1試合当たりの市外観戦者の人数	926	1,235
	鉄関連	鉄の歴史館に訪問した団体客数	222	296
外部人材活用	地域活性化起業人	地域活性化起業人数（派遣型、副業型）	2	3
	地域おこし協力隊	隊員数	9	12
地域外サポーター	社会貢献	ラグビーボランティアに市外から参加した人数	238	238
		ボランティアに市外から参加した人数(社会福祉協議会)	24	24
	ファンコミュニティ	未来づくりPJに市外から参加した人数	65	65
		Decidimの市外登録者	47	47
		オープンチャット登録者数	—	200
学びのフィールド	ワーケーション	参加者数	519	692
	インターンシップ	参加者数	97	129
	釜石外語大学校	外国人生徒数	—	80
	釜石コンパス	市外講師数	42	42
	スポーツ合宿	参加者数	1,270	1,694
	修学旅行	参加者数	2,651	3,535
合 計			7,738	10,460

〈参考〉外貨の獲得

大分類	中分類	内容	現状値 (2023年度)	目標値 (2028年度)
外貨の獲得	ふるさと納税	直近5年で2回以上釜石にふるさと納税をしている人数	33,986人	38,462人
		寄付額	883,808千円	1,000,000千円
	企業版ふるさと納税	寄付企業数	7社	14社
		寄付額	28,000千円	42,000千円

# 具体的な施策 ①新たなチャレンジができ、安心して働けるまち

- 地域事業者の持続的な経営を可能にするため、人材育成やデジタル化、マッチング支援など地域事業者の経営力強化を図るとともに、起業・創業など新たなチャレンジを支援します
- 高規格道路網と釜石港を有する当市の強みを生かすとともに、テレワークやワーケーションなど働き方の多様化に対応した新規企業の誘致により、地域経済の活性化及び雇用の場の創出を図ります
- 魚のまち「かまいし」復活に向けた水産業の振興のほか、農林業、畜産業など一次産業の持続的な振興を図ります
- ライフスタイルに併せた多様な働き方を推進するとともに、テレワーク・ワーケーション環境の充実を図ります
- 資源循環に向けたエネルギーの地産地消の仕組みづくりとエネルギー産業の創出を図ります

No.	基本的方向	具体的施策	SDGs	担当課・関連課
1	地域企業の経営力強化と新たなチャレンジへの支援	•地域雇用サポート事業、地域企業経営力向上事業、起業挑戦サポート事業、釜石・大槌地域産業育成センター事業、産学官連携促進事業、研究開発推進事業、ローカルスタートアップ支援事業		総合政策課 オープンシティ・プロモーション室 商工観光課 国際港湾産業課
2	企業誘致や港湾物流による産業振興	•釜石港振興事業、企業誘致推進事業		国際港湾産業課
3	魚のまち「かまいし」の復活と活力ある農林畜産業の創出	•さかなのまち活性化事業、畜養ウニ産業化構築支援事業、釜石市魚市場生産・機能体制強化事業、水産加工業人材確保支援事業、釜石型農業活性化事業、観光農園設置事業、釜石市農畜産業振興総合支援事業、森林経営管理事業、森林病虫害等防除緊急対策事業		水産農林課
4	多様な働き方の推進、雇用の場の確保	•ワーケーション推進事業、自立型テレワーカー育成事業、地域雇用サポート事業（再掲）		オープンシティ・プロモーション室 商工観光課
5	エネルギーの地産地消、エネルギー産業の創出	•脱炭素先行地域づくり事業		ゼロカーボンシティ推進室

## 具体的な施策 ②関わりたい、関わり続けたいまち

- 当市の魅力を効果的に伝え、新たな人の流れを生み出しながら、多様な関わりを創出し続けることにより、つながり人口の更なる増加と活動人口との交わりによる新たなイノベーションを創出するとともに、特色ある移住支援による地域への人材の呼び込みにチャレンジします
- かまいしDMCを中核として、滞在型観光やワーケーションの充実による交流人口の拡大を図るとともに、地域資源を生かした特産品のブランド化やふるさと納税の振興を図ります
- ラグビーのまちや鉄の歴史、当市ならではの学びのデザインなど、当市の強みを生かした交流人口の拡大を図ります

No.	基本的方向	具体的施策	SDGs	担当課・関連課
6	移住定住の推進と多様な人材の還流	・地域活性化起業人配置事業、地域おこし協力隊事業、学生活動支援事業、まち・ひと・しごと創生事業、ワーケーション推進事業（再掲）、定住推進事業、かまいし学生エール便事業、医療・福祉等人材確保対策事業、釜石市国際外語大学校運営支援事業		総合政策課DX推進室 オープンシティ・プロモーション室 商工観光課 地域福祉課 国際港湾産業課
7	戦略的な観光地域づくり	・観光事業コーディネーター配置事業、四季彩イベント開催事業、伝統芸能「釜石虎舞」全国発信事業、物産センター改修調査業務		商工観光課
8	ラグビーなどスポーツを生かした人の還流	・ラグビーメモリアルイベント開催事業、釜石ラグビーレガシー継承事業、スポーツ合宿誘致推進事業、ラグビーによる人材育成事業、スタジアムコンサート誘致推進事業、体育施設整備事業		スポーツ推進課
9	学びを生かした人の還流	・海と希望の学園推進事業、釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業、高校生のキャリア構築支援事業、鉄づくり体験事業、橋野高炉跡修復・公開活用事業、橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備事業、鉄の歴史館改修事業、歴史はっけん事業、みんなで伝える郷土芸能体験事業、屋形貝塚保存活用事業、世界遺産登録10周年記念事業		総合政策課 オープンシティ・プロモーション室 文化振興課
10	外貨の獲得	・ふるさと便お届け事業 ・まち・ひと・しごと創生事業（再掲）		商工観光課 オープンシティ・プロモーション室




## 具体的な施策 ③安心して子どもを産み育てられるまち

- 当市では男女とも未婚率が増加しており、当市の少子化の要因の一つになっていると考えられることから、結婚に向けた機会の創出を行うとともに、新婚世帯の経済的負担を軽減し、結婚に関する希望を叶えられるよう取り組みます
- 安心して子どもを産み育てられる環境の構築に向け、出産や子育てに関する経済的負担の軽減を図るとともに、子どもに対する相談支援の充実など、妊娠期から子育て期まで包括的で切れ目のない支援に努めます
- 子どもたちを地域で見守る環境づくりに努めるほか、子育て中の方々のニーズを的確に捉えながら、安心して子育てができる環境の充実を図ります

No.	基本的方向	具体的施策	SDGs	担当課・関連課
11	結婚に向けた機会の創出、経済的支援	・結婚支援事業		オープンシティ・プロモーション室
12	安心して産むことができる環境の構築	・妊産婦支援事業、母子保健事業、子ども家庭センター運営事業		子ども家庭課
13	援助を必要とする家庭・子どもへの支援	・子どもの居場所づくり支援事業補助金、学習支援を通した子どもサポート事業		子ども家庭課
14	子育て環境の充実	・食生活改善事業、歯科保健事業、予防接種事業、子ども・子育て支援給付事業、心豊かな子ども育成事業、地域子ども・子育て支援事業、特定教育・保育施設支援事業、医療費給付事業（子ども・妊産婦・ひとり親）、室内の遊び場整備事業、地域医療DX推進事業		健康推進課 子ども家庭課 市民課 学校給食センター





# 具体的な施策 ④魅力と活力があふれ、安心して住み続けたいまち

- 誰もが地域内で必要な医療が受けられるよう地域医療の充実を図るほか、ライフスタイルに応じた健康づくり活動の充実を図りながら、平均寿命、健康寿命の延伸に向けた取組を推進します
- 防災まちづくりを推進するほか、空家の適正管理、生活インフラの維持など生活環境の保全を図り、安全・安心なまちづくりに向け取組を推進します
- 地域課題の解決に向け、あらゆる分野でデジタルの力を用いた変革を模索し、その実現を目指します
- 2050年カーボンニュートラルの実現を目指すとともに、環境への負荷が少ない資源循環型社会の構築に向けた取組を推進するほか、持続可能な交通体系の構築に向け、次世代モビリティの導入も含めた新たな仕組みづくりを推進します

No.	基本的方向	具体的施策	SDGs	担当課・関連課
15	誰もが安心して住み慣れた場所で安心して生活できる地域づくり	・みんなの健康づくり応援事業、医師育成給付金事業、医師確保対策事業、救急医療対策事業、地域医療連携推進事業、救急安心センター事業、がん検診事業、がん患者医療用補正具購入費助成金事業、地域医療DX推進事業（再掲）		健康推進課
16	安全・安心なまちづくりの推進	・自主防災組織育成助成事業補助金、津波避難場所整備事業、防災行政無線整備事業、防災士養成研修講座事業、避難行動要支援者避難支援対策事業、空家等対策推進事業、道路新設改良事業、橋りょう改修・補強事業、河川改良事業、住宅安全安心リフォーム工事助成事業、木造住宅耐震支援事業、都市公園等復旧整備事業・公園施設長寿命化対策事業・空家等対策推進事業		防災危機管理課 健康推進課 地域福祉課 生活環境課 建設課 都市計画課
17	デジタルの力を活用した便利で快適なまちづくり	・DX推進事業、地域医療DX推進事業（再掲）		総合政策課DX推進室 健康推進課
18	資源循環型のまちづくりの推進	・プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化事業		生活環境課
19	持続可能な交通体系の構築	・三陸鉄道運営支援事業、支線化バス運行事業		生活環境課

# 具体的な施策 ④魅力と活力があふれ、安心して住み続けたいまち

- 高齢や障がい、こども、生活困窮など複雑・複合化した支援ニーズ対応する包括的な支援体制として、「重層的支援体制」の構築を更に推進し、幅広く受け止めることで、地域共生社会の実現を目指します
- 当市の将来を担うこどもたちが夢や希望をもって成長できるよう、教育環境の充実に向け、地域に根ざした人間性豊かな児童・生徒の健全育成と学力向上に向けた取組を推進します
- 地域課題の解決に向け、地域と行政が一体となって解決策を見出し、実践する「市民主体のまちづくり」を推進するとともに、市民一人ひとりがそれぞれの持ち場で活動することで、この地域に住まう喜び＝シビックプライドの醸成につながるよう取組を推進します
- 多文化共生の推進に向け、外国人市民との交流の場の創出や国際化に貢献できる人材の育成に向けた取組を推進するほか、一人ひとりの個性が尊重され、能力が発揮できる社会の実現を目指します

No.	基本的方向	具体的施策	SDGs	担当課・関連課
20	支え合う地域共生社会の実現	・重層的支援体制整備事業、手話言語理解促進事業、障がい理解音楽祭開催事業、金石市高齢難聴者補聴器購入費助成事業、障がい者グループホーム整備事業補助金、医療費給付事業（重度・身障3級）		地域福祉課 高齢介護福祉課 市民課 こども家庭課
21	将来を担うこどもへの教育の充実	・かまいしコミュニティスクール推進事業、かまいし絆会議運営事業、英検受験料補助事業、地域学校協働活動体制推進事業、放課後等学習支援員配置事業、学校適応支援員配置事業、教育用コンピューター管理経費、放課後子ども教室推進事業		学校教育課 まちづくり課
22	地域課題解決に向けた市民主体のまちづくりの推進	・かまいし未来づくりプロジェクト事業、みんなで創る地域会議事業、集会所改修事業		総合政策課 まちづくり課 生活環境課
23	多文化共生及びダイバーシティ&インクルージョンの推進	・グローバル人材育成事業、外国人市民等安心まちづくり事業、外国都市交流事業		国際交流課

つながり人口・活動人口の創出や民間企業等とのパートナーシップの構築による地域課題の解決など、当戦略に掲げる地方創生に向けた取組を推進するため、効果的な情報発信を行います

### ■ 情報発信・広報活動の強化

毎月市内全世帯に発行している広報紙、公式ホームページ、公式SNS（LINE、Instagram）に加え、新たに公式Xと公式オープンチャットを開設し、市内外の情報の受け手の行動喚起を促しながら、当市の認知度やブランド力の向上、シビックプライドの醸成に向けたシティプロモーション活動を展開します

#### 広報かまいし

市政情報や市内の情報を的確に捉え、毎月特集として全世帯に知らせることで、まちへの理解と愛着を深めます。

#### 公式ホームページ

知りたい内容を見つけやすく、かつ分かりやすさを意識したページ作りを心がけます。

#### 公式LINE

リアルタイムで重要な情報を市内の幅広い世代に届けるため、プッシュ型の情報発信を行います。

#### 公式Instagram

若年層をターゲットに、魅力的な画像や動画で、釜石の日常やイベント情報を発信します。

#### 公式X

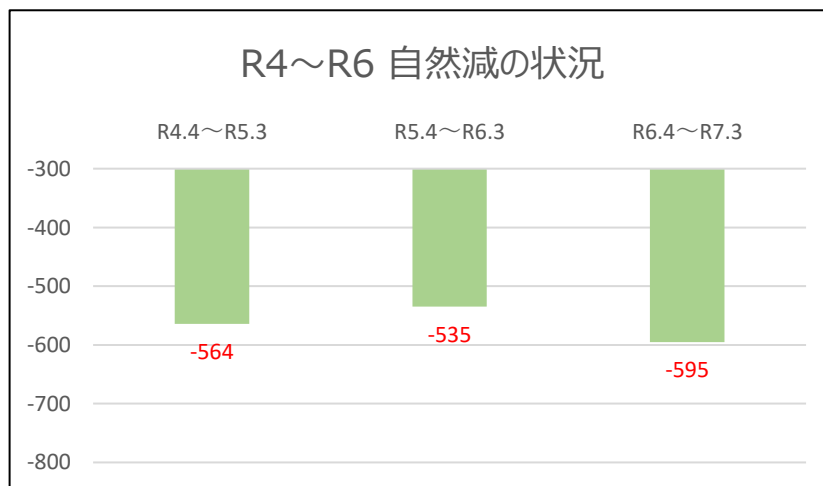
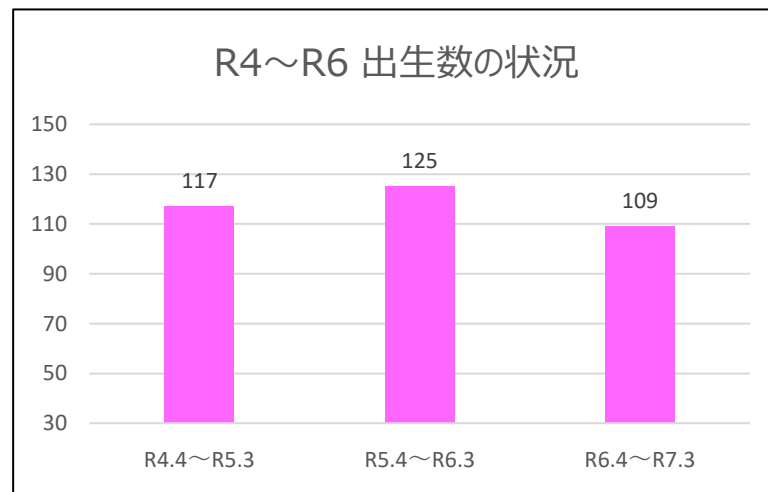
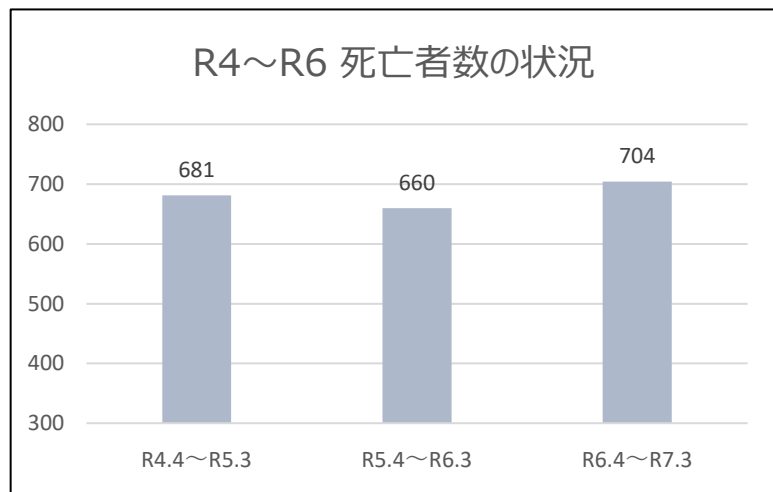
特徴である「拡散力」を生かし、認知度の向上を図るとともに、災害時の主な情報発信手段として活用します。

#### 公式オープンチャット

参加者自らが釜石の魅力をオンライン上で発見・発信する新たなつながり人口コミュニティの構築に挑戦します。

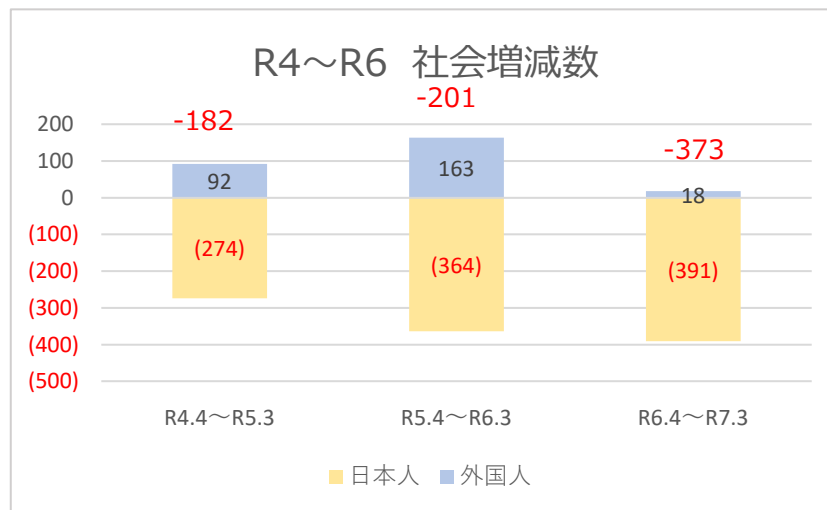
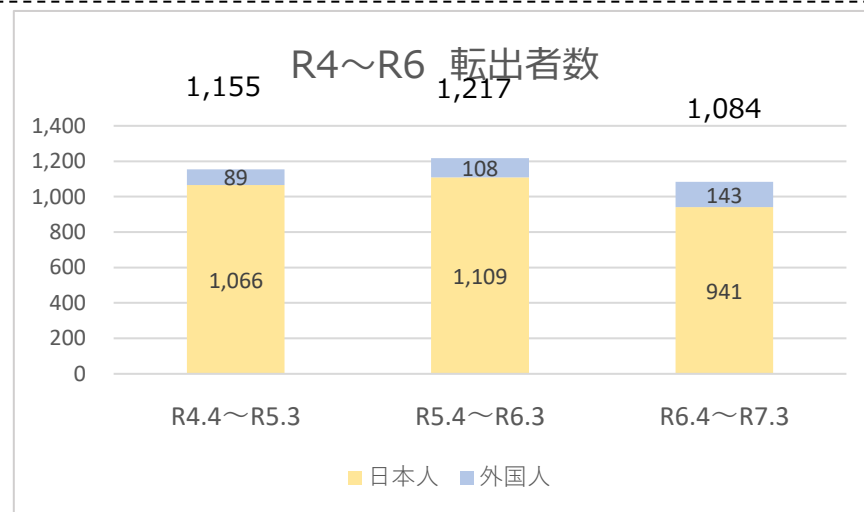
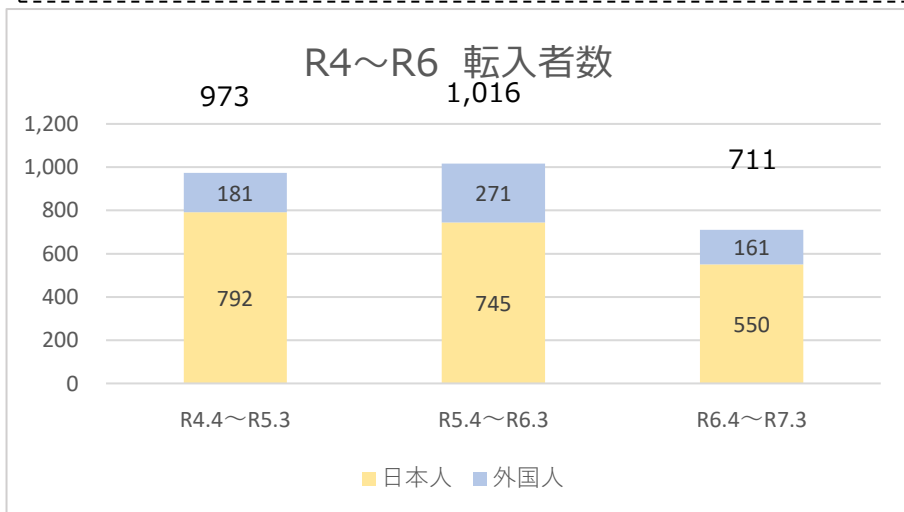
# 直近の人口動態① 死亡者数、出生者数、自然減の状況（R4年度～R6年度）

- 死亡者数はほぼ横ばいの状況。3年間の平均は682人
- R6の出生数は109人/年で前年度と比較し微減。3年間の平均は117人
- R6の自然減数は595人と昨年度を60人上回った。3年間の平均は565人



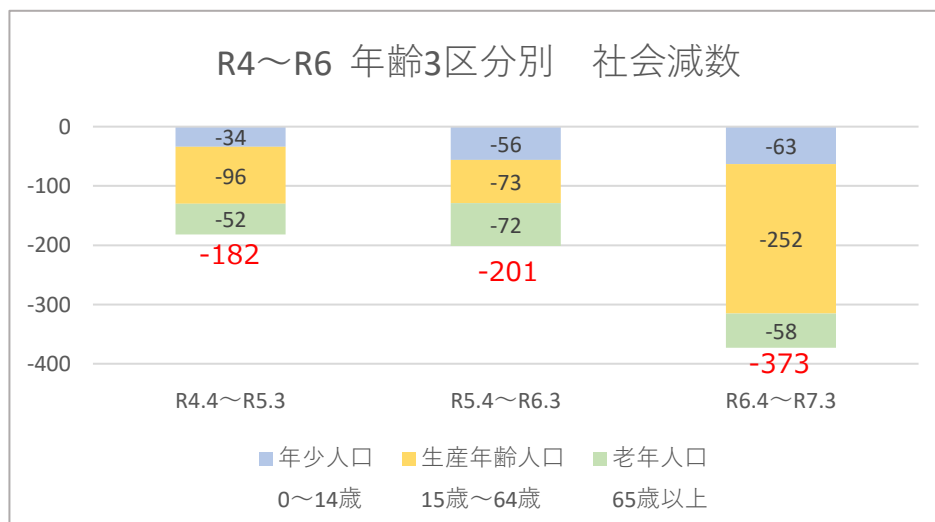
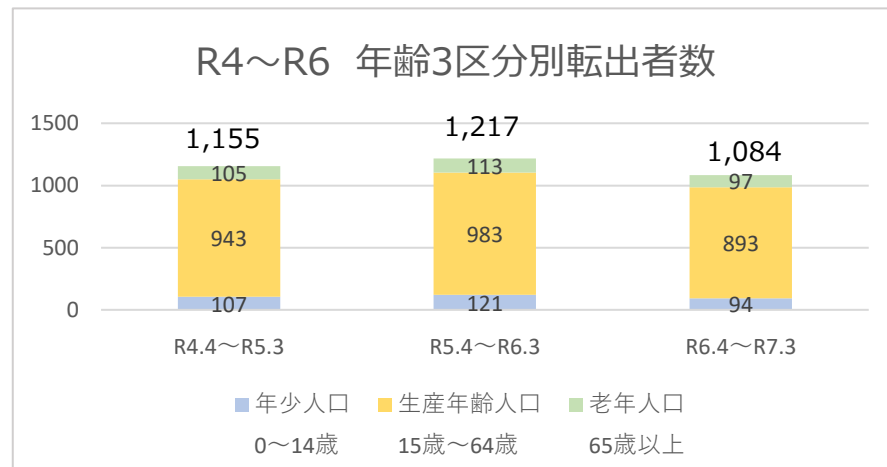
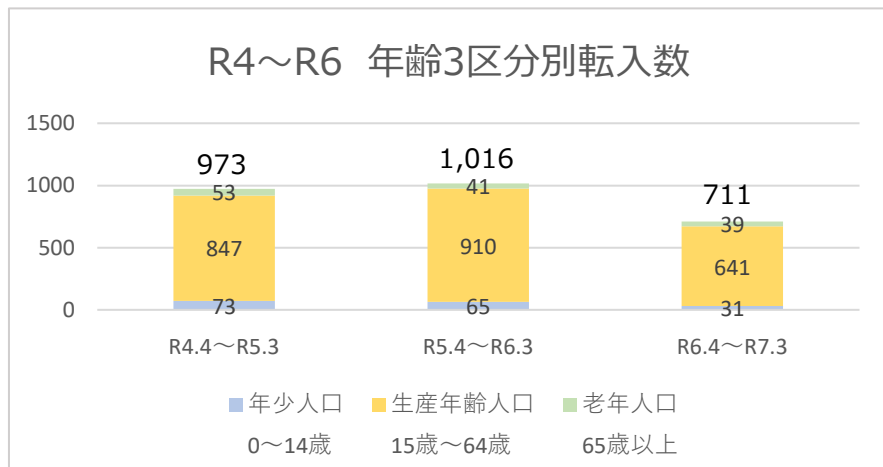
## 直近の人口動態② 死亡者数、出生者数、自然減の状況（R4年度～R6年度）

- ・R6は日本人の転入者が激減（R5→R6:195人の減）、転出者も減少（R5→R6:168人の減）したが、社会減が進んでいる状況。
- ・R6の外国人は、転入者と転出者がほぼ同数で、社会増が落ち着いたとみられる。



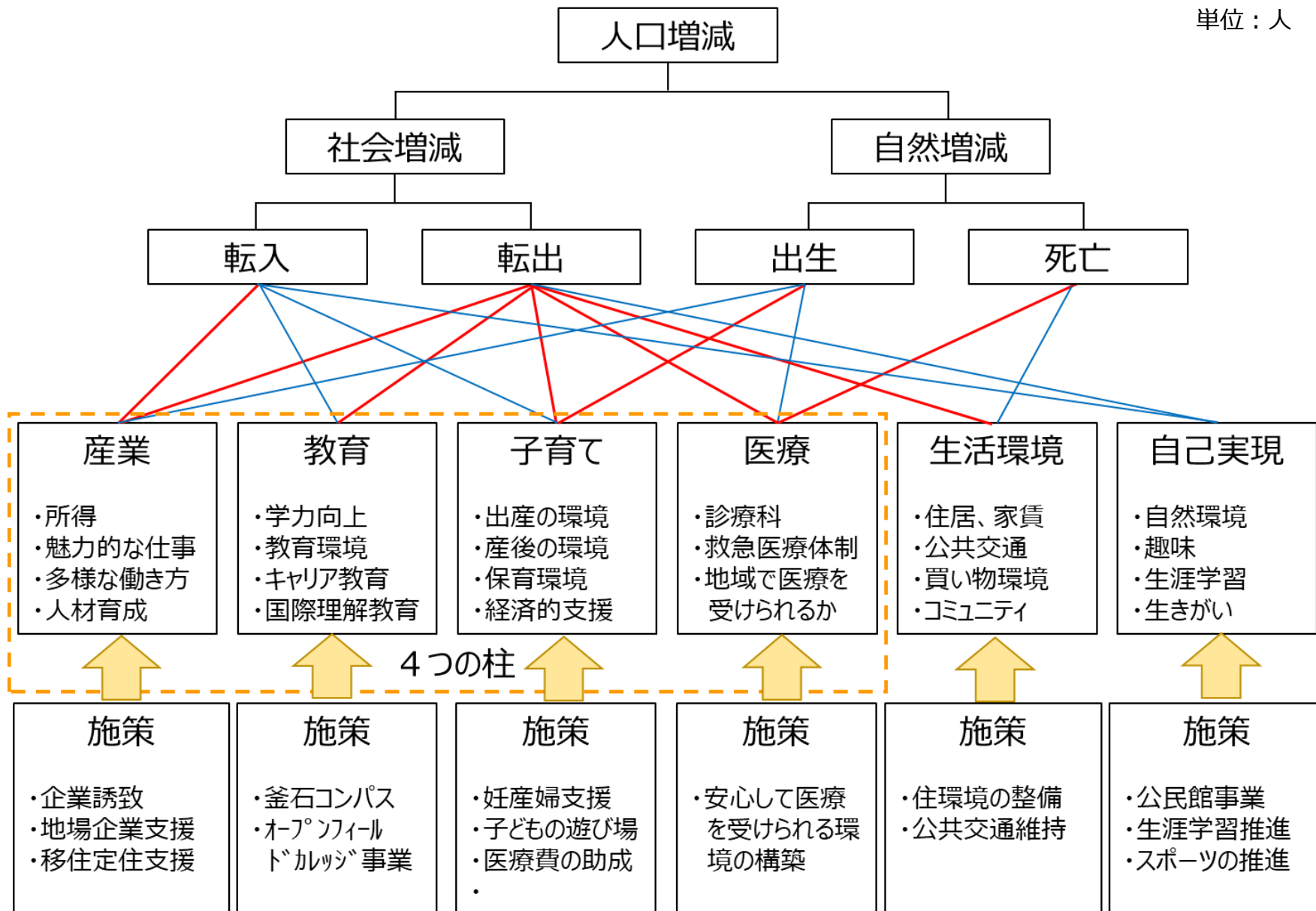
# 直近の人口動態③ 年齢3区分の転出者数、転入者数（R4年度～R6年度）

- ・転出、転入とも生産年齢人口が占める割合が高い。転出約80%、転入約85～90%。
- ・年少人口（0～14歳）の転入、転出も一定程度あり、親の転勤や転職に伴うものと推察。
- ・R6.4～R7.3の生産年齢人口の転入数が著しく減少（△269人）。



# 人口減少対策に向けた施策の整理

単位：人



- ・調査概要 : 市民課総合窓口で転入者・転出者に性別や年代、転出入の理由等をアンケート調査
- ・結果 転入 : 世帯数289世帯、回答数151 (回答率52.2%)  
転出 : 世帯数353世帯、回答数138 (回答率39.1%)

## ○転入の理由

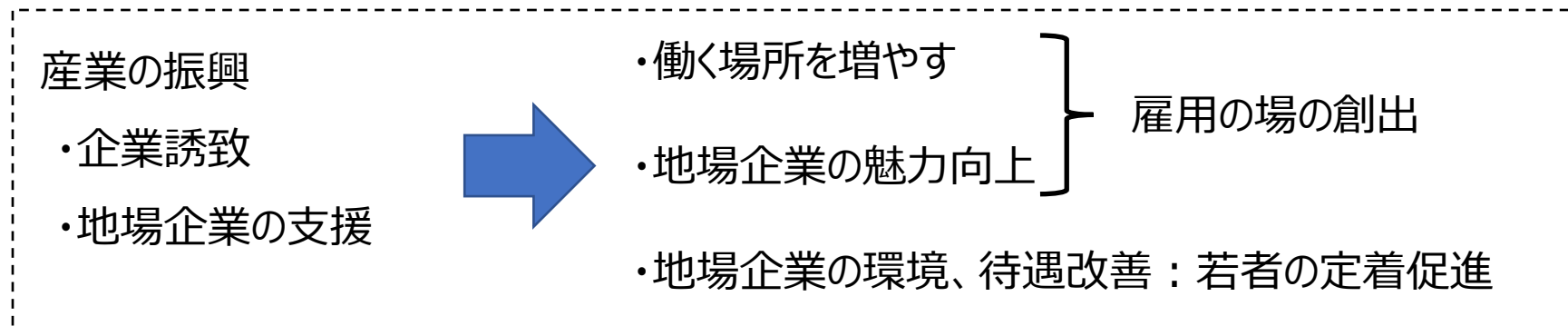
- ・仕事（産業） 109名（80.1%）
- ・生活環境 16名（11.7%）
- ・結婚 4名（2.9%）
- ・医療 4名（2.9%）
- ・教育 2名（1.1%）
- ・子育て 1名（0.7%）

## ○転出の理由

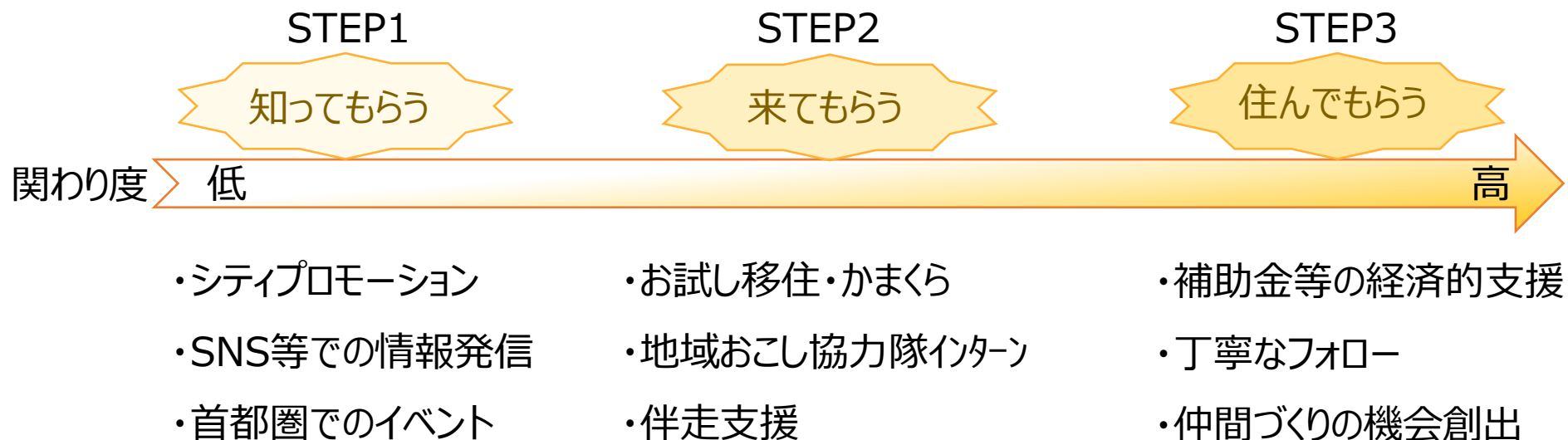
- ・仕事（産業） 83名（68.0%）
- ・生活環境 16名（13.1%）
- ・結婚 8名（6.6%）
- ・子育て 6名（4.9%）
- ・教育 5名（4.1%）
- ・医療 4名（3.3%）

# 若者世代の社会増に向けて

○当市の社会増減⇒仕事起因となるケースが多い



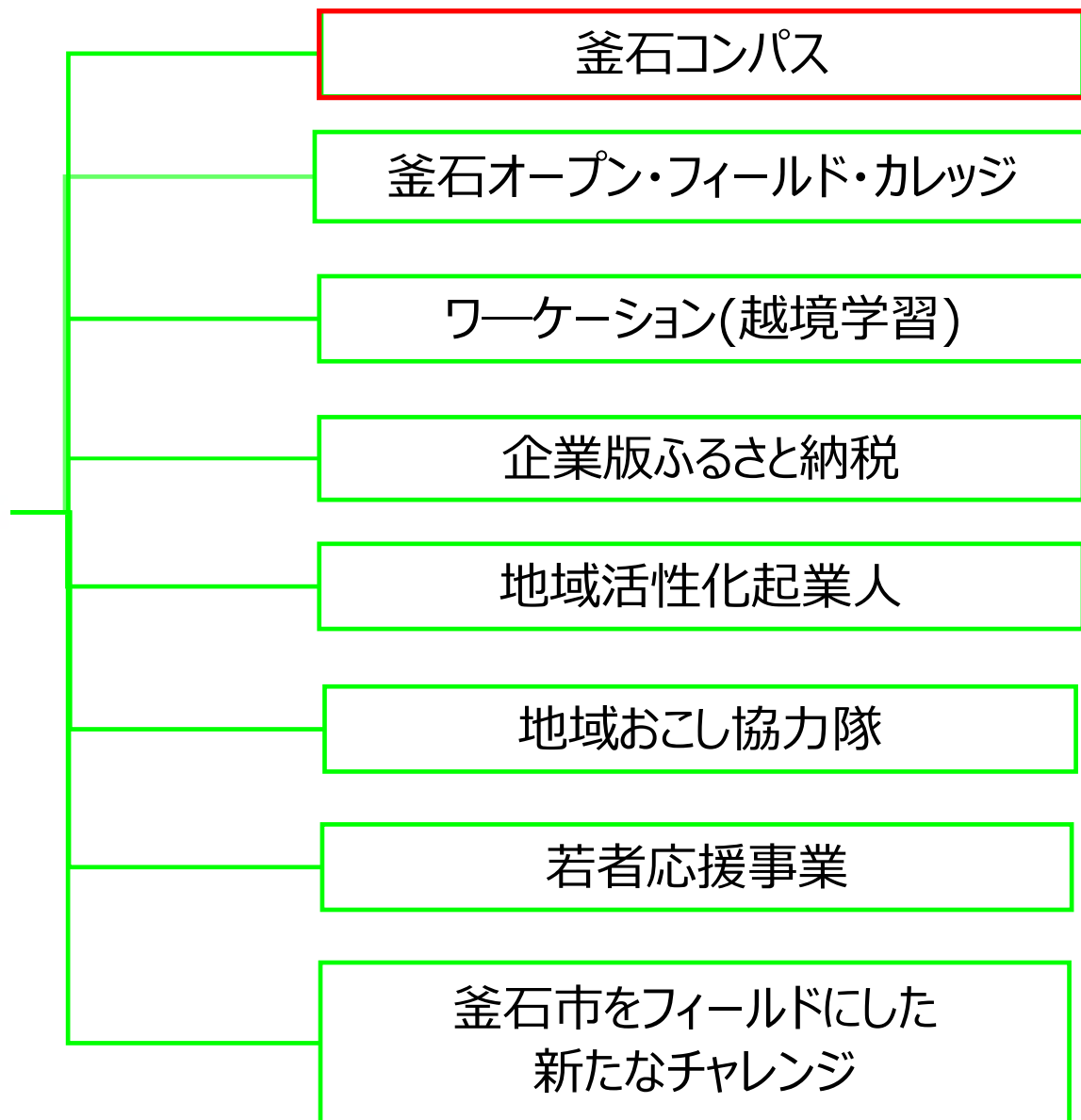
○移住・定住の増に向けて



# 釜石コンパス ～次世代を担う高校生キャリア教育～



オープンシティ釜石

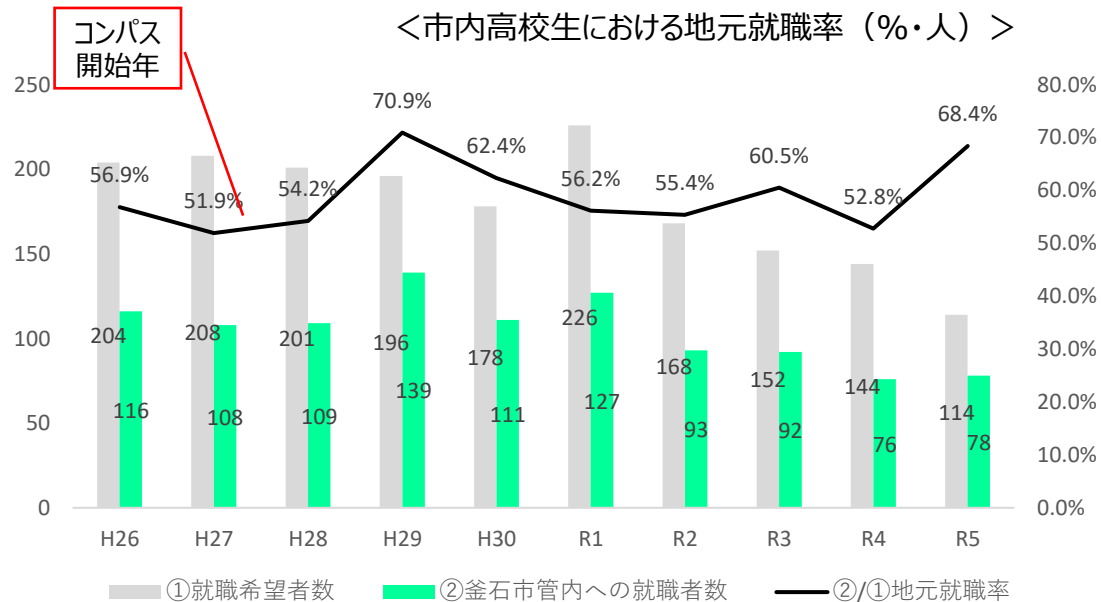


# 釜石コンパス ～次世代を担う高校生キャリア教育～



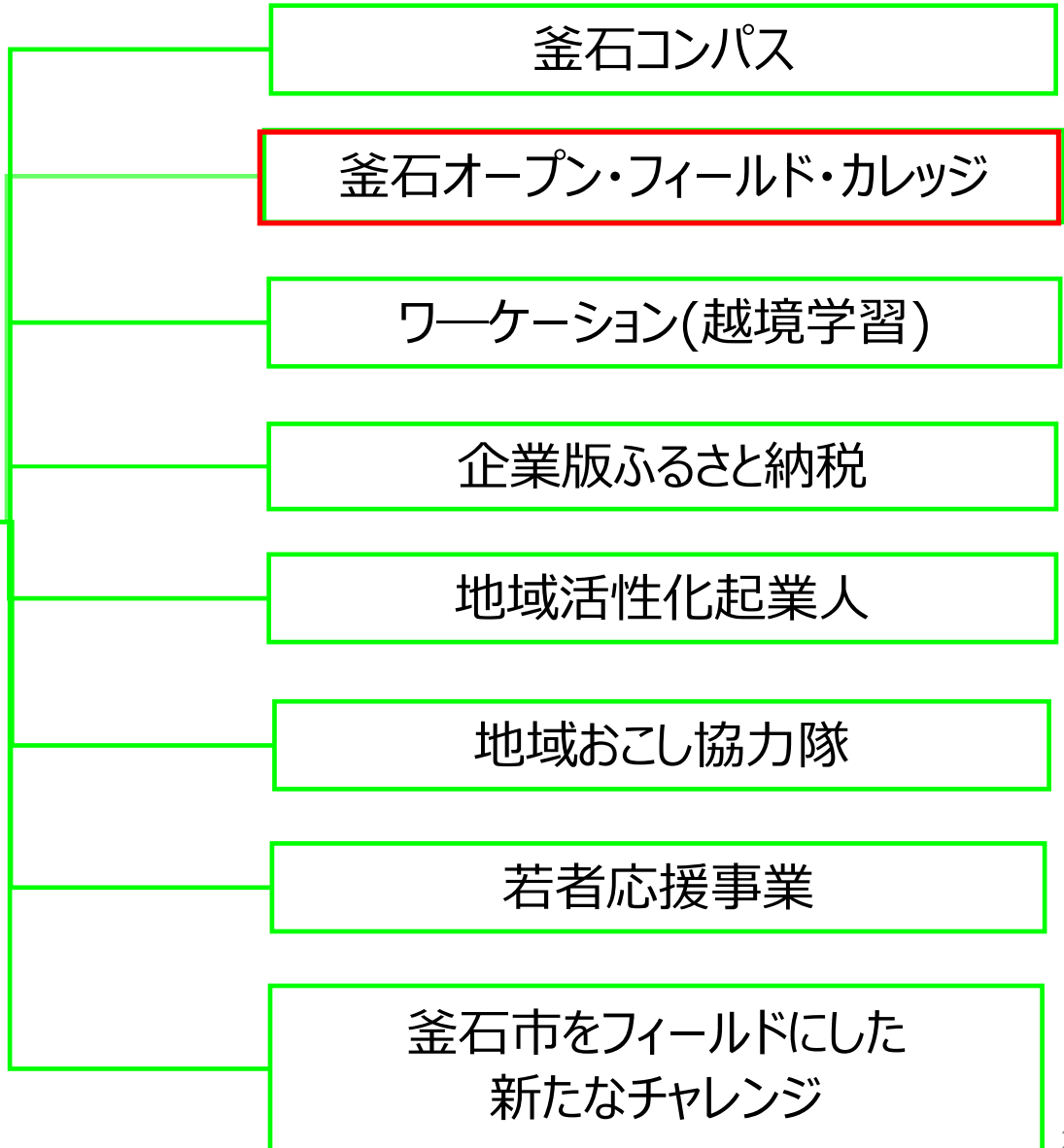
- ・市内外の多様な社会人と高校生が対話し、自身の生き方やキャリアを探求するプログラム
- ・10年間でのべ8,436名の生徒と1,158名の講師が参加
- ・釜石コンパスを受講したOBOGが社会人講師として参加するという好循環が生まれている

【就職を希望する市内高校生の地元就職率は総じて徐々に増加傾向】



オンラインツールを活用して  
市外講師による講座も実施

# 釜石市オープン・フィールド・カレッジの推進



# 釜石オープン・フィールド・カレッジ構想の推進

釜石市では、市全体が学びの場となる「釜石オープン・フィールド・カレッジ」構想を推進しています。

## 東京大学との連携

- ・2022年度から「海と希望の学園祭」を開催
- ・市内中学1年生に「未来探検授業」を実施
- ・上記イベントを11月21日～23日まで開催

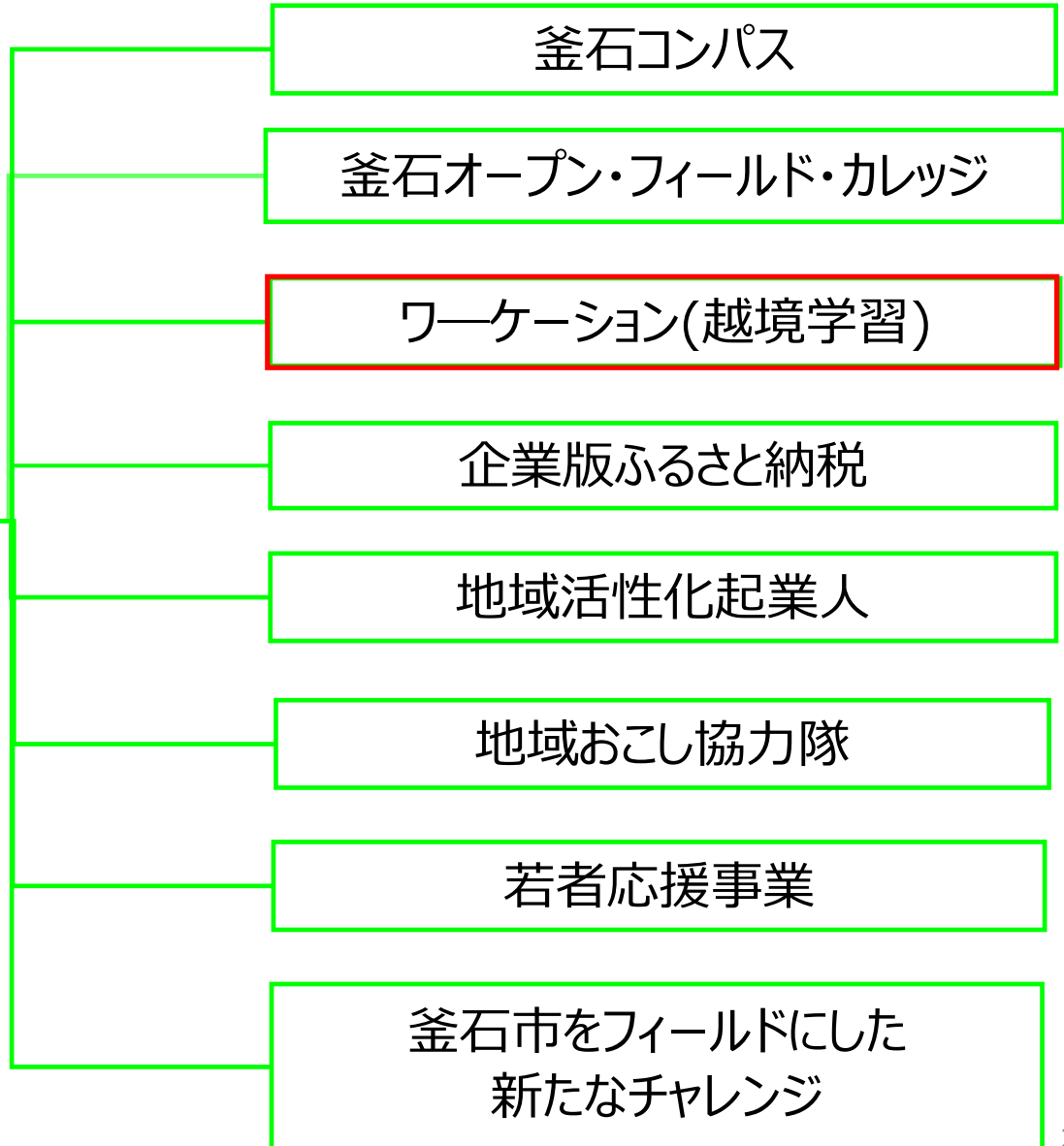


## 中学生の職場体験

- ・市内中学2年生が対象（203名参加）
- ・12講座の中から3講座を選択
- ・87%が仕事を考えるきっかけになったと回答



# ワーケーション（越境学習）



# ワーケーション（越境学習）

釜石のワーケーションは「学び」をテーマにしており、首都圏をはじめとする多くの企業様に職員研修として参加いただいている。

## 1 震災の記憶から学ぶ



### 【震災から学ぶマネジメント研修】

釜石の防災教育の事例から、組織づくりに活かせるエッセンスを学んでいただけるプログラム

### 【復興まちづくり・地方創生体感研修】

被災と復興の軌跡、そして地方創生への取り組みについてケースワークを通じて疑似体験していただくとともに、実際にまち歩きガイドを聞きながら、復興のプロセスを体感するプログラム

## 2 SDGs を体感する



### 【観光SDGsへの取り組みを知る】

サステナブルツーリズムの国際的な認証地にも選出されている釜石の取り組みや、その根底にある「マネジメント」の考え方を学ぶプログラム

### 【釜石の森林・バイオマス発電から考えるSDGs学びプログラム】

実際の伐採現場で枝や葉を収集し、収集した木材から生成できる木質バイオマスエネルギーについて学ぶプログラム

## 3 地元企業と交流する



### 【地域を牽引する企業を知る】

地元事業者の取り組みの紹介や意見交換の他、企業が抱える課題の解決から問題解決能力の向上に取り組みます。

（企業の一例）

- ・補助金に頼らない自立した運営を実現した観光地域づくり法人
- ・「地域密着ブランド」で数々の賞を受賞する創業100年の酒蔵
- ・徹底したお客様視点で浜値日本一に成功した、「高付加価値」ホタテ商店

# 企業研修・インターンシップ等の実績

		企業研修		視察受入		インターンシップ		合計	
項目	単位	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
延べ実施回	回	17	26	33	14	22	2	72	42
延べ参加団体数	団体	40	33	92	55	23	2	155	90
滞在日数	日	50	83	47	26	150	7	247	116
宿泊日数	泊	33	57	14	12	128	5	175	74
参加人数	人	196	291	440	129	109	46	745	466
事務局含む参加人数	人	224	330	470	131	111	58	805	519
創出宿泊数	人泊	476	703	304	143	405	160	1,185	1,006
合計消費額	円	16,572,873	19,211,500	7,214,115	8,372,130	4,741,606	3,135,310	28,528,594	30,718,940
-プログラム費	円	5,733,089	5,644,100	3,803,915	5,382,900	188,000	1,452,900	9,725,004	12,479,900
-宿泊費	円	4,322,469	6,600,000	2,164,000	1,113,680	3,239,750	879,805	9,726,219	8,593,485
-飲食費	円	2,128,475	4,408,400	819,450	1,263,050	997,400	792,605	3,945,325	6,464,055
-お土産費	円	908,500	2,559,000	327,750	612,500	316,456	10,000	1,552,706	3,181,500
-その他費用	円	3,480,340	—	99,000	—	0	—	3,579,340	—

# 新たなワーケーション施設・NEMARU PORTの整備

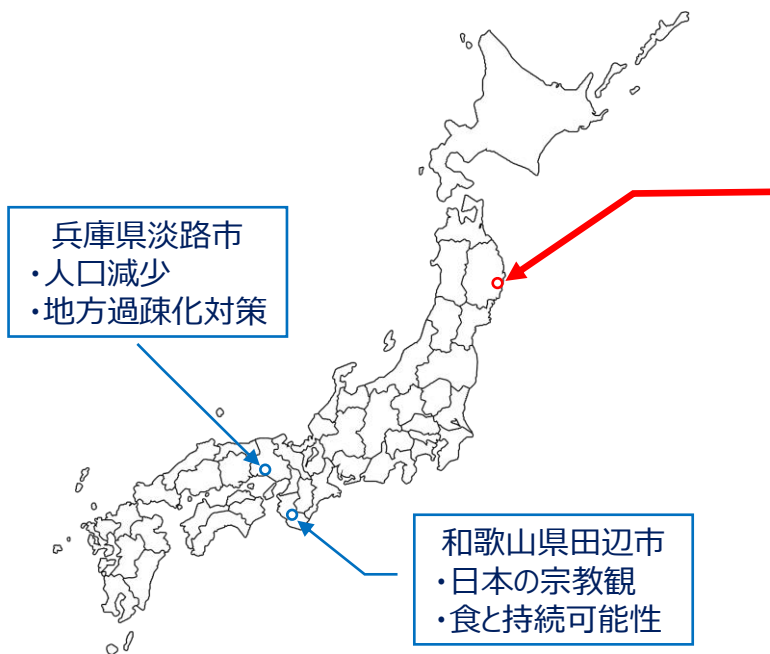
- ・名称 : 「NEMARU PORT (ねまるポート) 」
- ・面積 : 402.09㎡ (121.84坪)
- ・構成 : ワークスペース、個室、研修室、リフレッシュコーナー、キッチン、管理室
- ・施設概要 : 釜石市内外の多様な連携と交流を創出し、釜石版ラーニングワーケーションをさらに進化させたオープン・フィールド・ラボの拠点となる施設。釜石と釜石を訪れる様々な「人」が、集い、学び、そして共創する場として「人材の坩堝 (るつぼ) 」になることを目指している。(令和7年8月1日オープン)



## Minerva University (米国 カリフォルニア州サンフランシスコ)

- ・2014年9月開校。世界の約100カ国からの留学生が学生の85%以上を占め、多様性を実現
- ・双方向型のオンライン授業、世界各地でのフィールドワークに取り組むプロジェクトで注目を集める
- ・10月21日にMinerva University、一般社団法人Minerva Japanと包括連携協定を締結。

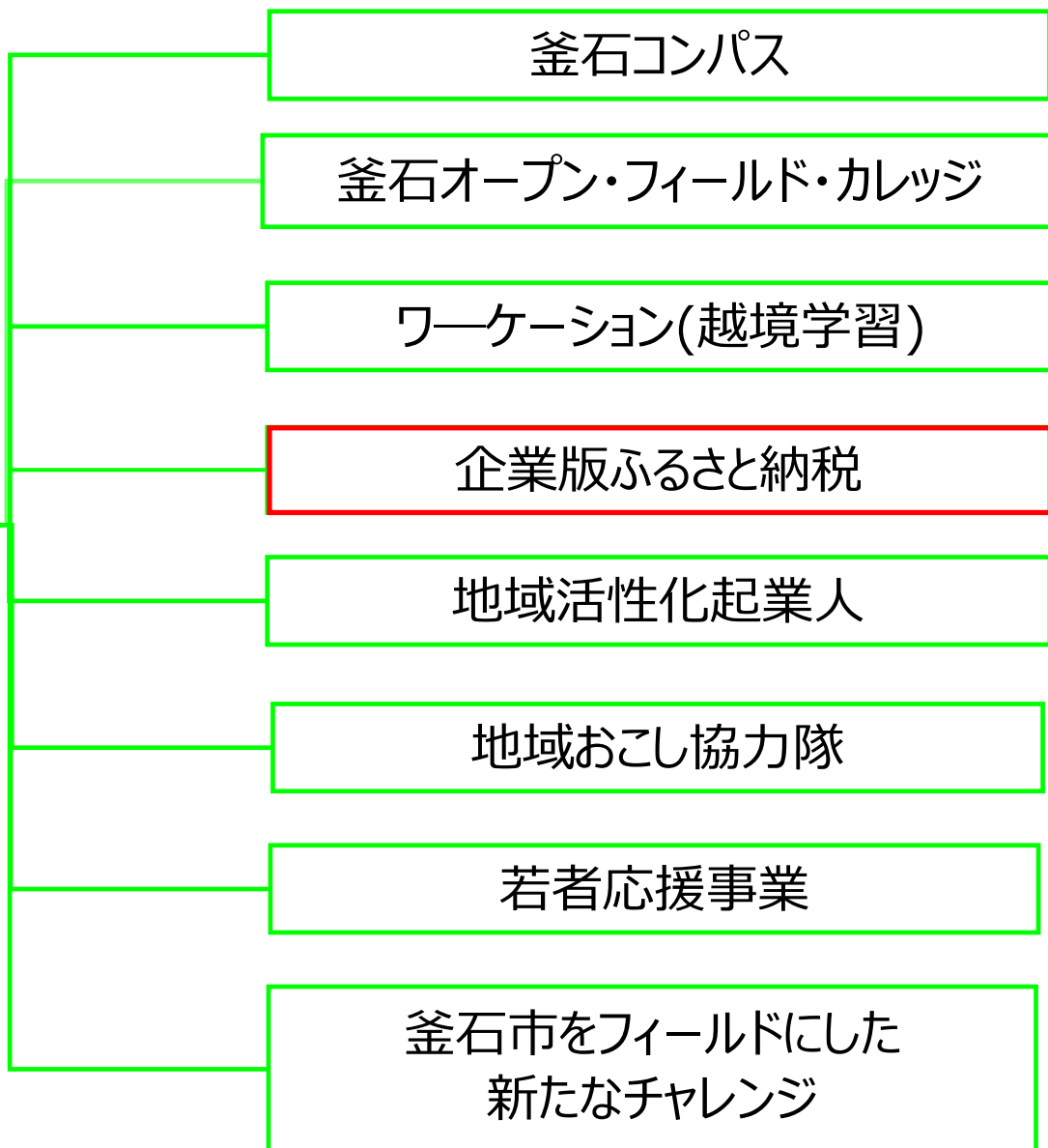
Minerva Universityフィールドワーク実施自治体



## 岩手県釜石市

- ・「災害復興と防災」をテーマに11月7日～10日、フィールドワークを実施。2学年48名が参加。





# 企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して**企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組み**です。

損金算入による軽減効果（寄付額の約3割）と税額控除（寄付額の最大6割）により、**最大で寄附額の約9割が軽減**され、実質的な企業の負担が約1割まで軽減されます。



**例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減**

## ①法人住民税

寄附額の4割を税額控除。（法人住民税法人税割額の20%が上限）

## ②法人税

法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。（法人税額の5%が上限）

## ③法人事業税

寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

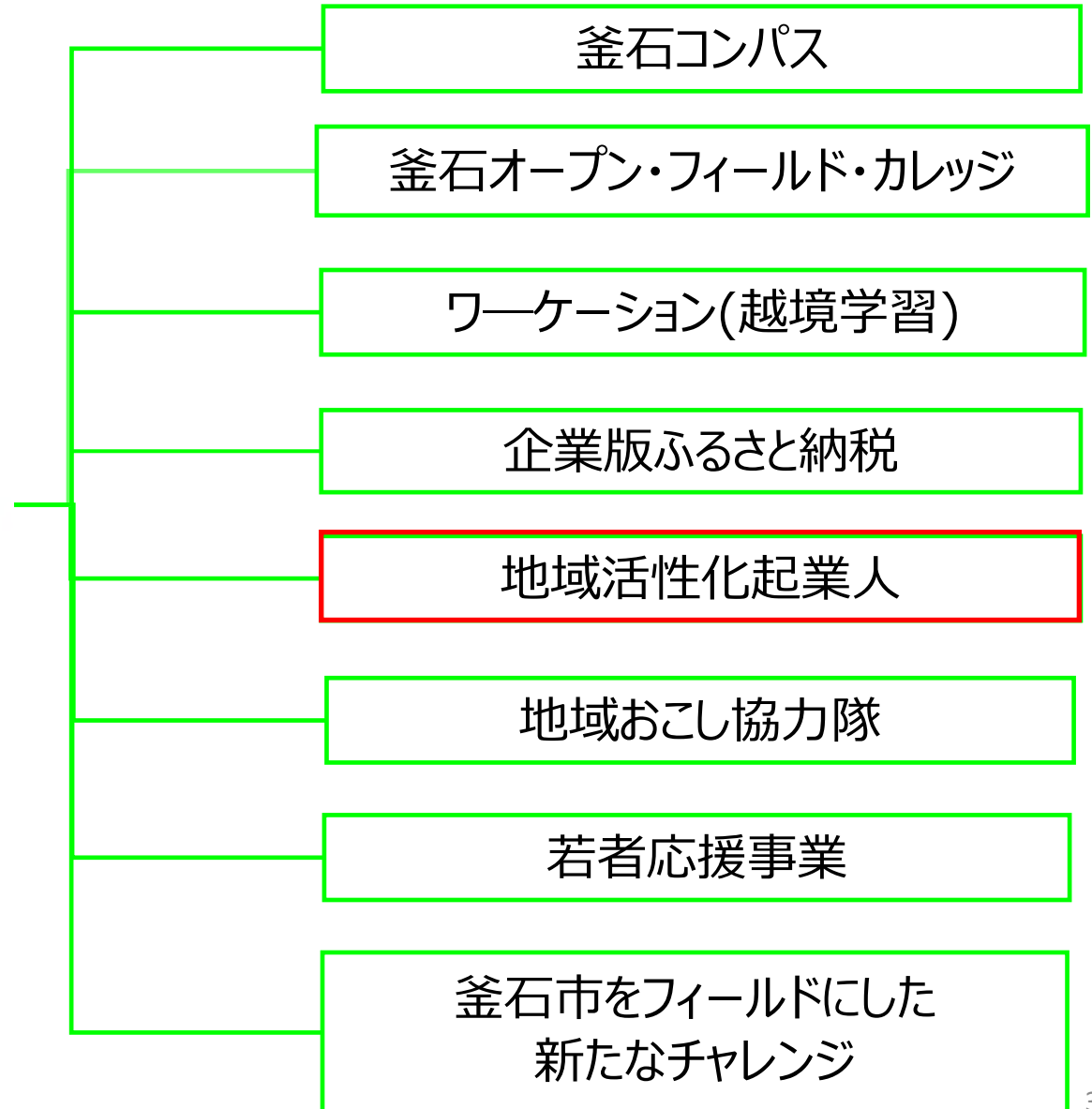
# 企業版ふるさと納税を活用した地方創生支援の例

基本的方向	具体的施策	SDGs
<p>ラグビーを生かした人の還流</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラグビーメモリアルイベント開催事業</li> <li>・釜石ラグビーレガシー継承事業</li> <li>・スポーツ合宿誘致推進事業</li> <li>・ラグビーによる人材育成事業</li> <li>・日本代表釜石合宿等おもてなし事業</li> <li>・スタジアムコンサート誘致推進事業</li> <li>・体育施設整備事業</li> </ul>	
<p>学びを生かした人の還流</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海と希望の学園推進事業</li> <li>・釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業</li> <li>・高校生のキャリア構築支援事業</li> <li>・鉄づくり体験事業</li> <li>・橋野高炉修復・公開活用事業</li> <li>・橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備事業</li> <li>・鉄の歴史観改修事業</li> </ul>	
<p>将来を担う子どもへの教育の充実</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かまいしコミュニティスクール推進事業</li> <li>・かまいし絆会議運営事業</li> <li>・英語検定受験料補助事業</li> <li>・地域学校共同活動体制推進事業</li> <li>・放課後子ども教室推進事業</li> <li>・幼児教育推進事業</li> </ul>	

# 企業版ふるさと納税の実績

## 年度別企業版ふるさと納税実績

年度	団体数	寄付額（円）	備考
令和3年度	3	5,000,000	
令和4年度	10	226,200,000	ワーケーション施設2億円
令和5年度	7	28,000,000	
令和6年度	15	32,600,000	新規:9件、継続:6件
令和7年度	8	11,000,000	新規:3件、継続:5件
合計	43	302,800,000	



# 地域活性化起業人の活用

## <地域活性化起業人（企業人材派遣制度）【総務省】>

- 三大都市圏に在る企業から一定期間、社員を受入れ、そのノウハウや見地を生かし、地域課題の解決や、地域独自の魅力・価値の向上等につながる業務に従事してもらう制度。
- 派遣元企業に対する負担金など、受入れに要する経費は国の特別交付税措置。
- 主な受入れ状況は、以下のとおり。

大窪 諒 氏（卒業）



- 江崎グリコ(株)から派遣【受入：商工観光課・総合政策課オープンシティ推進室】(R2.7月～R3.12月)
- 役職：地方創生・SDGs推進研究員
- 商品開発の経験を生かし、地場企業と協働による商品開発【かまもっち、三陸釜石うにパエリア、釜石ジオ弁当など】、うにしゃぶの地域ブランディング
- 食育、高校生のキャリア構築支援

鈴木 清志 氏（卒業）



- ソフトバンク(株)から派遣【受入：総務課・総合政策課DX推進室】(R2.8月～R5.7月)
- 役職：DX推進員
- 庁内DX（職員の負担を低減しつつ、市民サービス向上）企画立案
- 釜石市DX基本計画策定支援（庁内業務の調査・分析や庁内共通システムの導入支援）

池井戸 葵 氏（卒業）



- ソウルドアウト(株)から派遣【受入：商工観光課・オープンシティ推進室】(R3.7月～R6.6月)
- 役職：地域経済活性化推進研究員
- 釜石オープン・フィールド・ミュージアムの言語化や構想推進
- 地場企業の理念の可視化やマーケティングサポート
- 高校生のキャリア構築支援

# 地域活性化起業人の活用

【地域活性化起業人 副業型・シニア型】 副業型:6名 シニア型:2名 ※シニア型は令和7年度創設

- ・企業に所属しているor企業を退職した個人と自治体が契約を締結
- ・勤務日数・時間は、月4日以上かつ月20時間以上、受入自治体における滞在日数は月1日以上
- ・副業期間に要する経費（報償費等上限100万円/人＋旅費上限100万円/人（合計の上限200万円/人））を国が負担

## 副業型



刈上 耕平 氏

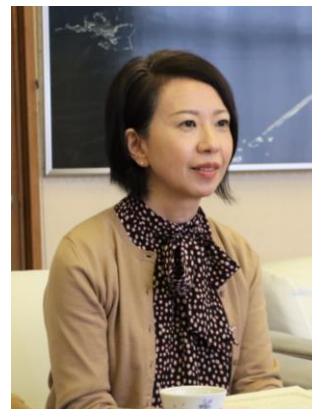
【所属会社】  
(株)日本能率協会マネジメントセンター

【経歴】  
JMAMの新規事業開発の一環でワーケーション（越境学習）プログラムを釜石で立ち上げ

### 業務内容

- (1) 地場企業と首都圏企業等のビジネスマッチングに向けた取り組み
- (2) 首都圏企業等へのニーズ調査に基づく関係人口の拡大に向けた協力・提言
- (3) 当市へのサテライトオフィスの誘致に向けた企業等へのニーズ調査・マッチング

## シニア型



上野 良子 氏

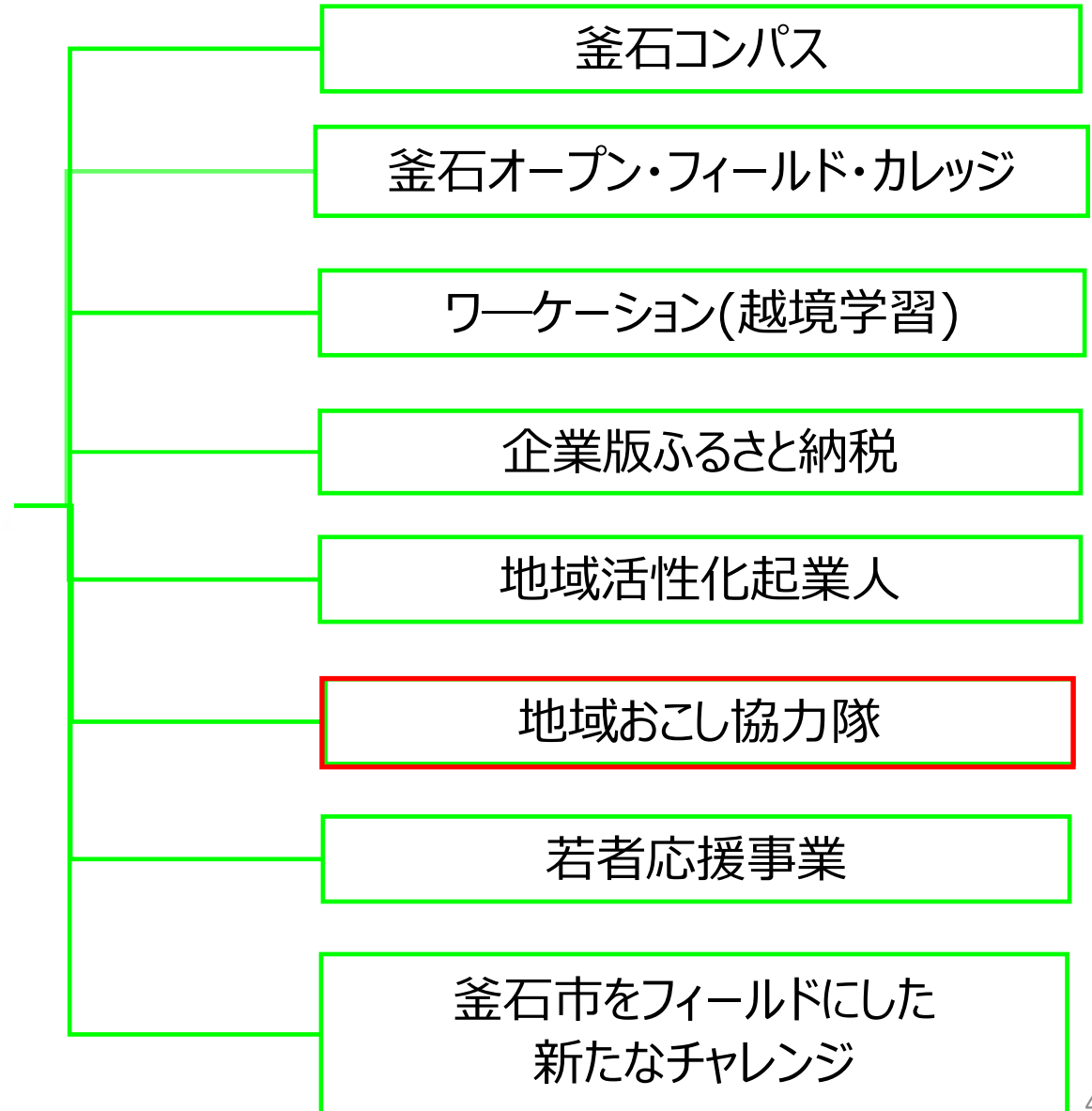
【所属会社】  
(株)トラベルジャーナル

【経歴】  
観光雑誌『週刊トラベルジャーナル』の副編集長として企画立案から記事の執筆までを一括して担当

### 業務内容

以下の分野における情報収集・取材・撮影及び記事執筆等を一括して行う情報発信に関する業務

- (1) 観光に関わる分野
- (2) 地方創生に関わる分野
- (3) 関係人口の創出に関わる分野



## 行政型地域おこし協力隊

岡田 稜平 氏



・市内高校生のキャリア構築支援事業の実施や市内高校の探求活動サポート、774プロジェクト運営、プログラミング講座の実施

山岡 星児 氏



・市内高校生のキャリア構築支援事業の実施や市内高校の探求活動サポート、774プロジェクト運営、国際交流プログラムの実施

横木 寛裕 氏



・観光関連団体・事業者等と連携し、観光客誘致イベントの開催や教育旅行の誘致による関係人口の創出に取り組む

# 企業右腕型地域おこし協力隊

・地域おこし協力隊員が「企業の右腕」として、地場企業の経営者とともに地域資源や経営資源を活用して地域課題の解決にチャレンジする新たな仕組みを構築。

○カテゴリー：PM、事業開発、企画職、マーケター、広報・プロモーション、DX、シエフ

○事業内容：サステナブルツーリズム、教育機関での企画、地域密着型移動販売の展開、地域クラブチームマーケティング、海外流通、EC販路拡大、地域の魅力発信、林福連携、空き家遊休施設のリノベーションなど



釜石市地域おこし協力隊  
かまいしDMC  
一緒に働きませんか？  
世界の持続可能な観光地100選に選出！



釜石市地域おこし協力隊  
学びの未来をデザインする  
コーディネーター  
大募集！



釜石市地域おこし協力隊  
あなたの力で  
地域に活気を  
さわか移動販売  
地域の未来を  
一緒に創ろう



ラグビーで釜石の未来を創る  
シーウェイブスと共に  
地域を支える  
仲間を大募集  
釜石市地域おこし協力隊



岩手県釜石市  
キャリア  
×  
協力隊  
釜石であなたのビジネス経験を活かしませんか？  
タレント 無職  
シニア 福祉・教育  
経験豊富 DIY



釜石市地域おこし協力隊  
大募集  
ローカルビジネス  
プロデューサー  
～ともに生きる里山を目指す～



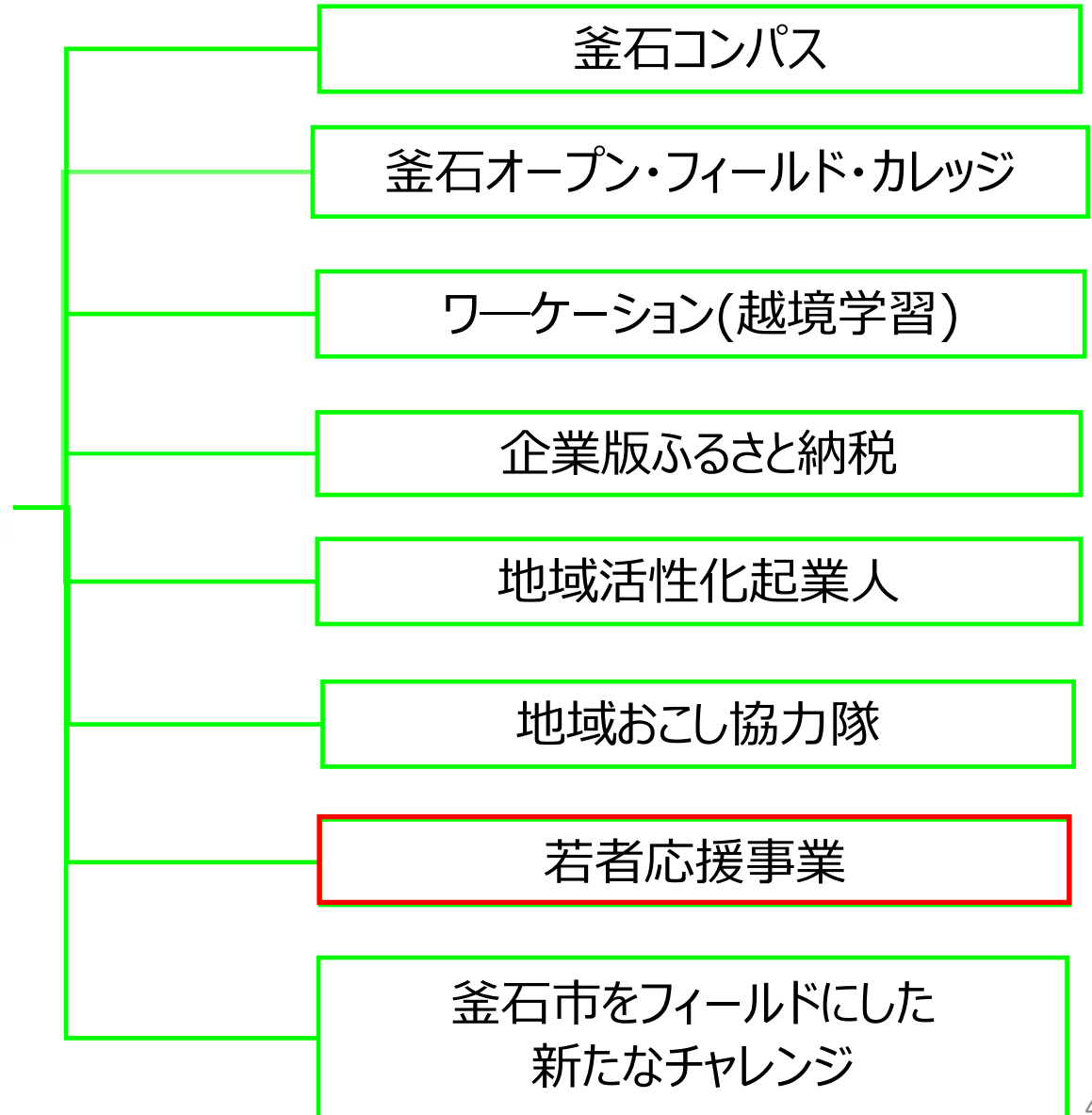
地域課題×理想の家づくり  
空き家プロデューサー  
募集中  
釜石市地域おこし協力隊



釜石市地域おこし協力隊  
三陸の海と向き合い、恵みを未来へ  
海と地域をつなぐ  
右腕、求ム！



釜石市地域おこし協力隊  
健康と安心を支える  
コミュニティナース  
大募集  
43



# 若者応援事業（新）について

令和7年度

結婚支援事業、学生活動支援事業

- ・若者交流イベント開催  
→出会い・交流に向けた交流イベント  
参加者数が右肩上がり
- ・iサポと連携しての結婚支援  
→iサポの負担金等を拠出
- ・結婚支援事業を活用した経済的支援  
→国の制度を活用して補助金を交付
- ・学生活動支援事業（インターン等）  
→R6年度は109名が来釜、20名が  
補助金を活用。R7年度も予算額  
に達する見込み



令和8年度

若者応援事業

- ・若者交流イベント開催  
→若者のニーズを踏まえての交流イ  
ベントに加え、若者向けのWSも開催
- ・iサポと連携しての結婚支援  
→若者の出会いの創出を支援
- ・結婚支援事業を活用した経済的支援  
→国制度を活用した支援を継続
- ・学生活動支援事業（インターン等）  
→ワーケーションの推進、ミ礼バ<sup>®</sup>大学との  
協定等により、さらなる推進を図る
- ・若者に選ばれるまちに向けて（別紙）

独身男女の出会いの場創出支援として、大槌町と連携して婚活イベントを開催。

〈令和3～5年度の実績〉

令和3年度：新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

令和4年度：応募少数で中止（オンライン：男性2、女性0 街コン：男性20、女性3）

令和5年度：応募少数で中止（体験イベント：男性2、女性0）

※アンケートでは、**婚活色が強いイベントには参加しづらい**、事前に属性が知りたいという意見



令和6年度以降、地域内の若者の仲間づくり、交流の場創出を目的に実施

〈令和6年度以降の実績〉

令和6年度：第1回イベント@養老の滝：18名参加（男性11名、女性7名）

第2回イベント@HAMAYUI：29名参加（男性19名、女性10名）

令和7年度：第1回イベント@HAMAYUI：35名参加（男性18名、女性17名）

※参加者へのアンケートを元に第2回イベントを企画中。アンケート結果からスポーツイベントの声が多かったことから、11月29日にスポーツイベントを開催予定

# 若者に選ばれるまちに向けて【令和8年度～】

岩手県沿岸広域振興局と連携し、若者定着に向けた取組を実施。  
市では以下3点の取組を想定。

## ①若者定着に向けた企業意識調査

・若者が定着するための企業の意識改革に向け、企業の経営者層と若年層それぞれに意識調査を実施し、世代間や男女間におけるギャップの解消を図る。

## ②若者定着セミナー・ワークショップ

・住みやすい街の実現のために若者自身ができることを考えるセミナーワークショップを実施。外部講師を呼び、セミナー1回、ワークショップ2回を想定。

## ③若者アンケート

・若者の声を把握するため、市内の若者（18～39歳）を対象にアンケートを実施。  
（仕事、仲間づくりなど 釜石に住み続けるために何が必要か）

## 【参考：岩手県 沿岸広域振興局の取組】さんりくジェンダーギャップ解消プロジェクトの推進

### ①プロジェクトキックオフ

経営者や地域団体のトップ層を対象としたキックオフ会議を開催

### ②企業向けさんりくワーク・イノベーションモデル事業

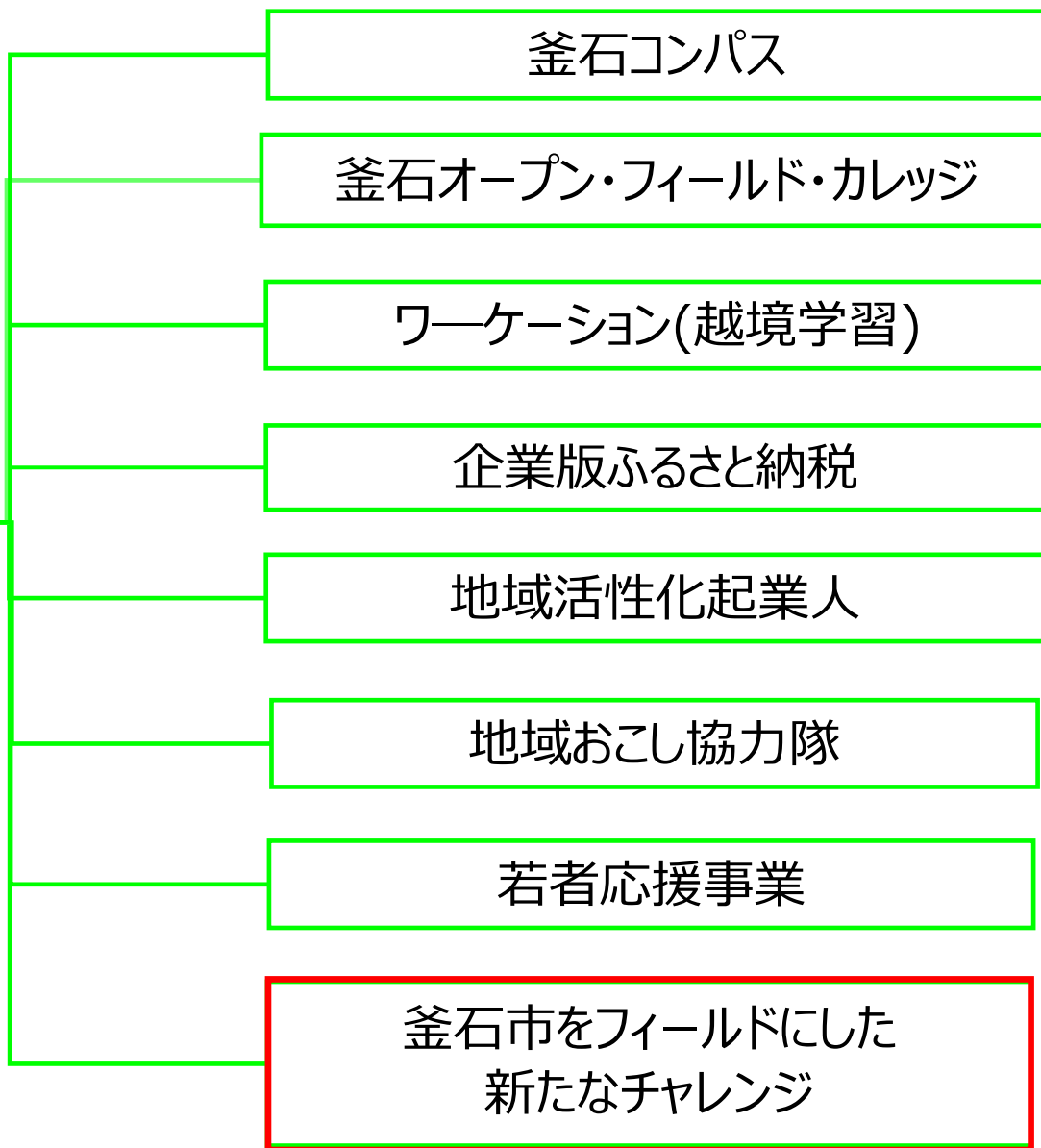
アンコンシャスバイアス認知を促進するワークショップの開催+モデル事業(3社)として一般事業主行動計画を策定

### ③さんりくミライラボ（若者向け異業種交流ワークショップ）

若者向け異業種交流ワークショップを開催し、地域同期づくりを促進

# 釜石市をフィールドにした新たなチャレンジ

 **オープンシティ釜石**



# 地域課題の解決に向けた民間企業の新たなチャレンジ

## 一般社団法人 ゴジョる (設立: 2017年6月20日、代表理事: 菊池隼)

- ・「すべての生活者の生活の質の向上」をミッションに、様々な社会課題を互助のチカラを促すことで解決に導き、持続可能な地域社会を創造。
- ・生活困窮者を雇用し、林福連携により、間伐材を活用した薪を製造・販売

### これまでの事業

林福連携による「薪」の販売

#### 地域課題の解決

- ・復興跡地の活用
- ・生活困窮者を雇用
- ・間伐材を活用



### 新たな取組

- ・総務省「ローカル10000プロジェクト」を活用
- ・薪製造の過程で発生する端材を活用した炭の製造
- ・炭の製造過程で発生する熱を活用したイチゴの栽培



生活困窮者のさらなる雇用と新たなつながり人口の創出

#### STEP1

バイオマス炭の製造・販売



#### STEP2

イチゴ栽培・販売



# クラウドファンディングを活用した新たなチャレンジの支援

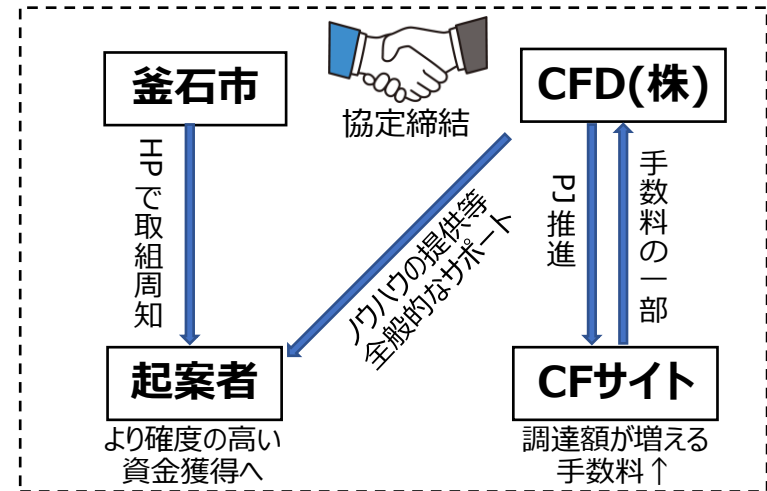
## ■ 2025年4月にクラウドファンディングデザイン(株)と協定を締結

クラウドファンディングを行うサイト（Campfire等）と連携し、起案者が適切に資金獲得をするためのサポートを行っている会社であるクラウドファンディングデザイン株式会社と協定を締結し、新しい挑戦をサポート

### 【サポートの当たっての費用負担】

- ▶自治体や起案者からCFD(株)への支払いは不要。
- ▶クラファンを行うサイトが徴収する手数料（Campfireの場合は17%）から事業費を受け取る形。

### 概念図



達成済

## ココイロいわて

「閉園したこすもす公園を生かして  
子どもの笑顔あふれる遊べる農園に」



**支援総額**  
340万7,333円  
(目標：300万円)

**実施期間**  
4月11日～5月31日

## Happiece Coffee

現在  
実施中

「東日本大震災の被災地釜石と能登を繋ぐ  
フェアトレードコーヒー店を釜石で開業します！」

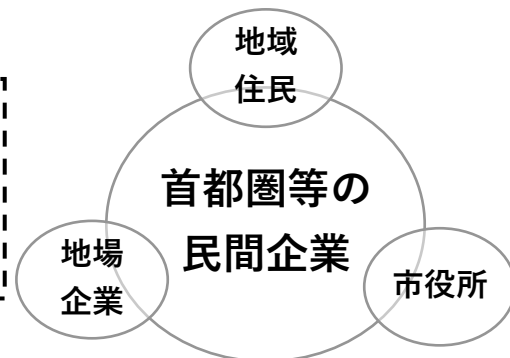


**支援総額 (11月10日時点)**  
229万5,012円  
(目標：300万円)

**実施期間**  
10月17日～12月5日

## 【事業概要】

市内の活性化や地域課題の解決に資するため、首都圏をはじめとする民間企業と市内事業者・地域住民・市役所職員等とが連携し、新たなイノベーションの創出に向けた実証実験を行う。



## 【実施イメージ】

### STEP1 地域課題の掘り起こし (R8)

- ・官民共創するうえでのセミナー
- ・地域課題・新たな価値の発掘に向けたワークショップ

地域力創造アドバイザー  
(株)官民連携事業研究所  
の鷺見英利代表取締役を  
招聘予定。



【財源】  
総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用  
⇒特別交付税：590万円  
上限、最大3年間)

### STEP2 企業とのマッチング (R9～)

- ・抱える課題の共有と目指すべき姿に向けたビジネスピッチ
- ・首都圏をはじめとするスタートアップ企業等とのマッチング

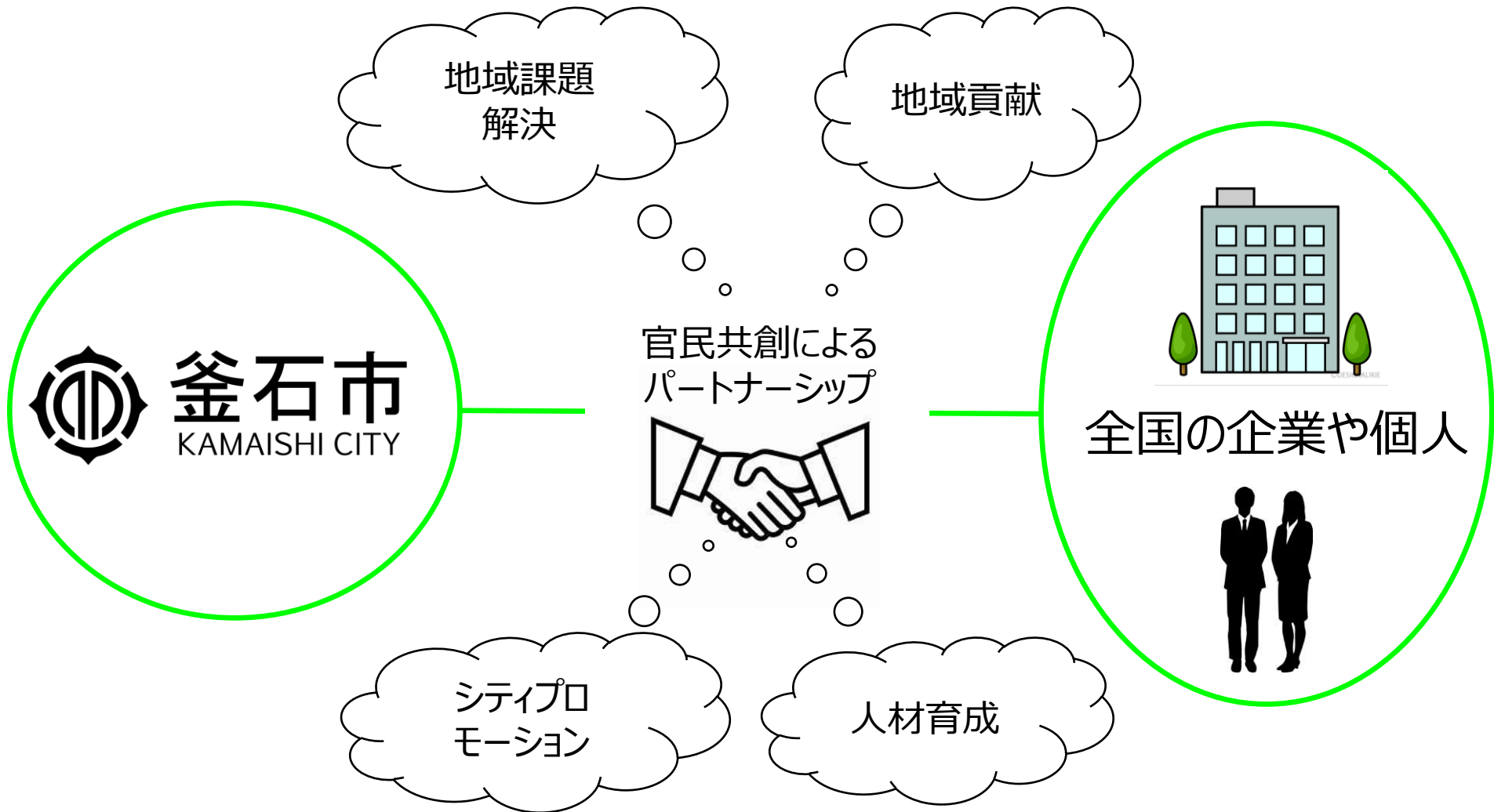
R8で実施した地域課題・新たな価値の掘り起こしを踏まえ、あらゆる地域課題の解決に向けた首都圏企業とのマッチング・実証実験を行う。

【財源】  
第2世代交付金等の国庫支出金を活用予定。

### STEP3 実証実験

- ・首都圏等の民間企業と市内事業者・地域住民・市役所職員等が行う実証実験

# 全国で活躍する企業・個人とのパートナーシップの構築



# オープンシティ釜石

